

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略
にかかると業評価報告書(案)
(平成29年度事業)

平成30年7月
宇治市

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

1. 基本的な考え方

(1) 総合戦略の目的

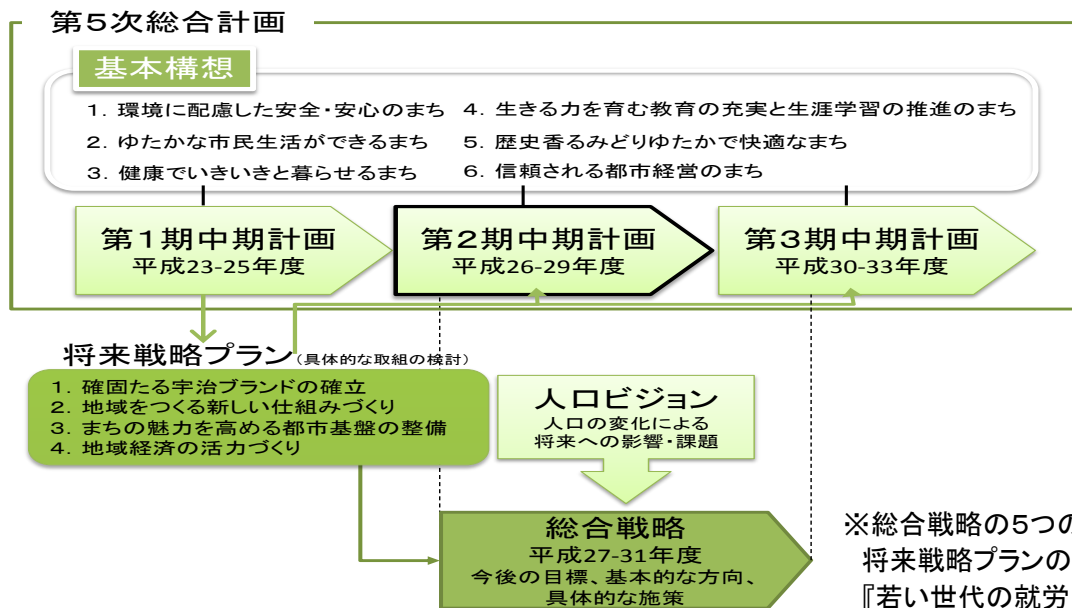
人口減少及び少子高齢社会への迅速かつ的確な対応と、本市の特色を活かした施策の実施により、持続的に発展するまちを目指すことを目的とする。

(2) 総合戦略の位置付け

本市では、宇治市第5次総合計画(計画期間平成23～33年度)において「みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市」を目指す都市像とし、お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治をまちづくりの目標とする。この基本的な考え方は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的考え方等と合致している。

また、平成25年度に策定した宇治市将来戦略プランでは、宇治市第5次総合計画第1期中期計画を受けて、宇治を持続的に発展する都市とするため、産業や観光などの幅広い分野において時代の変化に対応し、『宇治』の魅力向上させるための具体的な取組を検討した。

本総合戦略では、既に示されている宇治市第5次総合計画・宇治市将来戦略プランを踏まえたうえで、人口ビジョンにおいて示した人口の変化による将来への影響、課題を勘案しつつ、人口減少に歯止めをかけ、持続的に発展するまちを目指した今後の目標、基本的な方向、具体的な施策を示すものである。



※総合戦略の5つの基本目標
将来戦略プランの4つの方針に
『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』を追加

2. 事業評価

各基本目標における数値目標や具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)の達成度により、取組の効果を毎年検証し、国の動向や社会経済情勢の変化などに対応した施策の見直しを図るなど、PDCAサイクルにより、総合戦略の実現性を高める。

また、効果検証に際しては、庁内で評価を行うとともに、その妥当性・客観性を確保するため、市民及び産学官金労言等の有識者で構成される「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」で検証を行う。

※PDCAサイクル: Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Action(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り組むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法。

3. 評価の対象事業

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の5つの基本目標に掲げる事業のうち、平成29年度に実施した事業(地方創生推進交付金対象事業を含む)について評価を行った。

なお、同交付金は、国において事業効果を高めるため、外部有識者による効果検証を求められている。

4. 総合戦略の見直し

本市では、人口減少に歯止めをかけるため、平成29年度において総合戦略に掲げる基本目標に基づき、観光施策や子育て支援施策、産業振興施策をはじめ各種事業を実施した。人口は依然として減少しているが、人口の減少幅は改善しているとともに地域ブランド調査による魅力度ランキングでは、最高値であった基準値を上回るなど、これまでの取組に一定成果があったと推測されることから、これまでの5つの基本目標に沿った具体的施策の方向性は、人口減少の歯止めに向けた取組として適切なものと考えられる。

したがって、現時点では5つの基本目標に沿って、具体的施策に応じた事業を充実しながら取組を推進することとし、総合戦略の具体的施策の見直しは実施せず、今回目標を達成した数値目標及びKPIについては目標値の修正を行ったうえで、効果検証をしながら、今後、必要に応じて見直しを行うものとする。

目次

基本目標	具体的施策	頁
(1)『確固たる宇治ブランドの確立』	①魅力発信プラットフォーム運営等事業	2
	②観光振興事業	6
	③観光インバウンド推進事業	12
	④宇治茶活用事業	14
	⑤宇治茶ブランド化事業	20
	⑥源氏物語のまちづくり等事業	22
	⑦宇治の魅力の深化事業	26
(2)『市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生』	①市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業	30
	②宇治への愛着醸成事業	36
	③誰もが生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業	40
	④多世代交流促進事業	48
(3)『まちの魅力を高める都市基盤の整備』	①まち巡りを仕掛ける基盤づくり	50
	②交通環境等充実事業	54
	③公共施設アセットマネジメントの導入	58
	④地域コミュニティの活性化	60
(4)『地域経済の活力づくり』	①産業活性化事業	64
	②雇用促進事業	68
(5)『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』	①若い世代の就労支援事業	72
	②結婚・出産支援事業	74
	③子育て支援環境充実事業	78
	④学習環境等充実事業	88
	⑤保幼小中の連携教育推進事業	96
	⑥地域等協働子育て環境充実事業	98
	地方創生推進交付金(平成29年度)	104
	重要業績評価指標(KPI)目標値修正一覧	109
	人口動向分析	111
	宇治市と大学・企業等との主な連携内容一覧	112

(1) 『確固たる宇治ブランドの確立』～宇治市に新しい人の流れをつくる～

<p>目標</p>	<p>人口減少に歯止めをかけるため、本市の魅力を発掘・創造・発信し、観光客をはじめとした交流人口の増加を図り、魅力の実感を通じて、宇治に住みたい思いの醸成から、転入者を増やすことで社会増を達成する。</p>																																															
<p>数値目標</p>	<table border="1" data-bbox="349 359 2056 726"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ブランド調査 魅力度全国ランキング</td> <td>38位 (H26年)</td> <td>54位</td> <td>52位</td> <td>37位</td> <td></td> <td></td> <td>29位 (H31年)</td> </tr> <tr> <td>観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)</td> <td>69～95% (H23年度)</td> <td>—</td> <td>55～93%</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td>全て85%以上 (H34年度)</td> </tr> <tr> <td>観光客のリピーター割合</td> <td>58% (H23年度)</td> <td>—</td> <td>56.3%</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td>70% (H34年度)</td> </tr> <tr> <td>交流人口（観光入込客数）</td> <td>5,201,764人 (H26年)</td> <td>5,598,011人</td> <td>5,587,147人</td> <td>5,509,815人</td> <td></td> <td></td> <td>7,500,000人 (H31年)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施（観光客の宇治市満足度・リピーター割合等を把握）</p>								数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	地域ブランド調査 魅力度全国ランキング	38位 (H26年)	54位	52位	37位			29位 (H31年)	観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	69～95% (H23年度)	—	55～93%	—			全て85%以上 (H34年度)	観光客のリピーター割合	58% (H23年度)	—	56.3%	—			70% (H34年度)	交流人口（観光入込客数）	5,201,764人 (H26年)	5,598,011人	5,587,147人	5,509,815人			7,500,000人 (H31年)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																																									
地域ブランド調査 魅力度全国ランキング	38位 (H26年)	54位	52位	37位			29位 (H31年)																																									
観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	69～95% (H23年度)	—	55～93%	—			全て85%以上 (H34年度)																																									
観光客のリピーター割合	58% (H23年度)	—	56.3%	—			70% (H34年度)																																									
交流人口（観光入込客数）	5,201,764人 (H26年)	5,598,011人	5,587,147人	5,509,815人			7,500,000人 (H31年)																																									
<p>評価・課題</p>	<p>地域ブランド調査による魅力度全国ランキングは前年に比べ改善しており、これまで、市民参画・協働による新たな魅力発信や、観光振興をはじめ本市の魅力的な資源である宇治茶や源氏物語を活かした本市のブランドを高める取組などの効果が一定表れている。また、今後は交流人口（観光入込客数）の増加に向け、積極的な事業の展開を図る必要がある。引き続き、これまでの事業効果を検証しながら継続・発展的に取組を進め、さらなるブランド化を推進する必要がある。</p>																																															
<p>平成30年度 拡充事業</p>	<table border="1" data-bbox="349 1069 1877 1276"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光情報発信事業費</td> <td>京都市等と連携し、本市観光資源の情報を発信</td> </tr> <tr> <td>源氏物語ミュージアム広報活動費</td> <td>源氏物語ミュージアムの広報宣伝活動を実施</td> </tr> <tr> <td>企画展示費</td> <td>源氏物語ミュージアムでの企画展示を実施</td> </tr> <tr> <td>源氏物語ミュージアムリニューアル事業費</td> <td>平成30年度の開館20周年に向けたリニューアルを実施</td> </tr> </tbody> </table>								事業名	事業概要	観光情報発信事業費	京都市等と連携し、本市観光資源の情報を発信	源氏物語ミュージアム広報活動費	源氏物語ミュージアムの広報宣伝活動を実施	企画展示費	源氏物語ミュージアムでの企画展示を実施	源氏物語ミュージアムリニューアル事業費	平成30年度の開館20周年に向けたリニューアルを実施																														
事業名	事業概要																																															
観光情報発信事業費	京都市等と連携し、本市観光資源の情報を発信																																															
源氏物語ミュージアム広報活動費	源氏物語ミュージアムの広報宣伝活動を実施																																															
企画展示費	源氏物語ミュージアムでの企画展示を実施																																															
源氏物語ミュージアムリニューアル事業費	平成30年度の開館20周年に向けたリニューアルを実施																																															

<具体的施策>

①魅力発信プラットフォーム運営等事業								
目標	国内だけでなく、世界のたくさんの人々に宇治の魅力を発信するため、市民、事業者、各種団体、学校、市の協働で、魅力の発掘・創造・発信する仕組みを構築する。また、動画やご当地キャラなどを活用し、魅力発信の充実を図る。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	魅力発信プラットフォーム参加団体数	0団体 (H26年度)	18団体	21団体	27団体			目標達成 25団体 ↓ 28団体 (H31年度)
	ふるさと応援寄附件数	26件 (H26年度)	1,403件	2,607件	3,058件			3,500件 (H31年度)
平成29年度 主な事業	事業名		事業結果					
	ふるさと応援施策推進事業		平成27年度	平成27年7月から宇治茶をはじめとしたお礼の特典を拡充し、12月からはふるさとチョイスと連携したクレジットでの支払いも可能とした。 ・件数1,403件 金額37,842千円				
			平成28年度	平成28年4月と10月にお礼の特典を拡充し、ふるさと応援寄附金を有効に活用するため、観光振興及び子育て支援などの用途を拡充する宇治市ふるさと応援基金条例の改正を行った。 ・件数2,607件 金額63,095千円				
			平成29年度	平成29年4月と10月にお礼の特典を拡充し、ふるさと応援寄附金を有効に活用するため、観光振興及び子育て支援などの用途を拡充した。 ・件数3,058件 金額77,948千円				

	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	魅力発信プラットフォーム運営等事業 (平成29年度地方創生推進交付金対象)	<p>平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの魅力を支える人及び団体の協働する場である宇治魅力発信プラットフォーム会議 4回 ・プラットフォーム会議を踏まえ、特に高校生のエネルギーをまちづくりに活かすことを目的に、市内高等学校の生徒が集う高校生版プラットフォーム会議「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」が協働事業として立ち上げ市長との意見交換等を行った。 ・高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト 応募数 14作品
		<p>平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治魅力発信プラットフォーム会議 3回 ・高校生版プラットフォーム「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」18回 ・宇治橋通りわんさかフェスタにて足湯の設置 ・和服をテーマにしたファッションショー「宇治コレクション」の開催(高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテストと同時開催)(京都文教大学ともいき「共生」フェスティバルにて開催) ・高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト 応募数 20作品
		<p>平成29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治魅力発信プラットフォーム会議 4回 ・高校生版プラットフォーム「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」9回 ・京都大作戦にて冷たい足湯(足氷水)の設置 ・市民交流ロビーにて「『WA』和・輪の心」をテーマに高校生によるファッションショーと抹茶の接待を開催 ・天ヶ瀬ダム見学ツアーに参加し、意見交換 ・高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト 応募数 27作品
	受付証明等事務費 (平成29年度地方創生推進交付金対象)	<p>平成27年度</p> <p>平成28年度</p> <p>平成29年度</p> <p>市の魅力の効果的な発信と婚姻出産の機運の醸成を図るため、京都文教大学との共同研究事業により学生と意見交換を行いながら、ご当地キャラを活用した本市独自のデザインによる婚姻届及び出生届を制作した。</p>

評価・課題

本市の様々な魅力について発信するため、宇治魅力発信プラットフォーム会議の開催及び高校生版プラットフォーム会議「めっ茶、好きやねん！！～宇治に届け～」による様々な取組を実施し、市の魅力発信に努めた。さらに、京都文教大学との共同研究により、本市独自のデザインによる婚姻届及び出生届を作成し、本市での婚姻出産の機運の醸成を図るとともに効果的に市の魅力発信に努めることができた。

魅力発信プラットフォーム参加団体数の重要業績評価指標の目標は達成しており、効果的に事業実施できているため、今後も継続的に取組を進める。また、ふるさと応援寄附件数は2年連続で増加しており、重要業績評価指標の目標値の達成に向け、今後もより一層の積極的な広報活動を行うなど事業に取り組む必要がある。

今後も本市の魅力のさらなる発信に向けて、積極的な広報活動を行うなど、市民・事業者・各種団体・学校・市の協働で、魅力を発信する具体的な取組の充実を図るなど、積極的な事業展開を図る必要がある。

<具体的施策>

②観光振興事業								
目標	<p>本市には、世界遺産である宇治上神社や平等院をはじめ、全国に誇る高級茶の代名詞である宇治茶や源氏物語など、歴史や文化、自然といったたくさんの魅力があり、国内外から多くの観光客が訪れている。こうした資源を積極的に発信するとともに、放ち鶺鴒やスポーツなど新たな資源の創造と山間部にある炭山陶器の里やアクトパル宇治なども含めた市全体の魅力的な資源を活かして、さらなる観光誘客を図る。さらに、京都府や近隣市町と連携した取組を推進する。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	69～95% (H23年度)	—	55～93%	—			全て85%以上 (H34年度)
	観光客のリピーター割合	58% (H23年度)	—	56.3%	—			70% (H34年度)
※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施 (観光客の宇治市満足度・リピーター割合等を把握)								
平成29年度 主な事業	事業名	事業結果						
	放ち鶺鴒プロジェクト検討事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	人工孵化で繁殖した鶺鴒(計3羽)による放ち鶺鴒の実施に向けた取組について、(公社)宇治市観光協会に対し補助金助成を行った。 ・放ち鶺鴒プロジェクト検討事業補助金 4,000千円					
平成28年度		人工孵化で繁殖した鶺鴒による放ち鶺鴒の実施に向けた取組について、(公社)宇治市観光協会に対し補助金助成を行った。 平成28年度には、人工孵化により増加した鶺鴒(計5羽)の環境整備として、鶺鴒小屋の増築・修繕を行った。 ・放ち鶺鴒プロジェクト検討事業補助金 3,500千円						
平成29年度		人工孵化で繁殖した鶺鴒(計9羽)による放ち鶺鴒の実施に向けた取組について、(公社)宇治市観光協会に対し補助金助成を行った。 ・放ち鶺鴒プロジェクト検討事業補助金 3,500千円						

	事業名		事業結果	
	事業名	事業結果	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	観光駐車場等対策事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」に基づき、(公社)宇治市観光協会をはじめ観光事業者と連携し、観光シーズンにおける交通渋滞の緩和を図るため、12ヶ所に誘導看板を設置するとともに、臨時駐車場の開設及び案内誘導を行った。	
		平成28年度	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」に基づき、(公社)宇治市観光協会をはじめ観光事業者と連携し、観光シーズンにおける交通渋滞の緩和を図るため、12ヶ所に誘導看板を設置するとともに、臨時駐車場の開設及び案内誘導を行った。	
		平成29年度	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」に基づき、(公社)宇治市観光協会をはじめ観光事業者と連携し、観光シーズンにおける交通渋滞の緩和を図るため、12ヶ所に誘導看板を設置するとともに、臨時駐車場の開設及び案内誘導を行った。	
	観光案内所管理運営費 (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	JR宇治駅前観光案内所、近鉄大久保駅前観光案内所における管理運営を(公社)宇治市観光協会へ委託し、観光客や市民への情報発信や憩いの場の提供を行った。	
		平成28年度	JR宇治駅前観光案内所、近鉄大久保駅前観光案内所における管理運営を(公社)宇治市観光協会へ委託し、観光客や市民への情報発信や憩いの場の提供を行った。	
		平成29年度	JR宇治駅前観光案内所、近鉄大久保駅前観光案内所における管理運営を(公社)宇治市観光協会へ委託し、観光客や市民への情報発信や憩いの場の提供を行った。また、平成29年8月26日に京阪宇治駅前に観光案内所を開所し、上記2観光案内所と同様に管理運営を(公社)宇治市観光協会へ委託した。	
	観光関連施設整備事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	平成27年度	観光トイレ等の観光施設の修繕を行った。	
		平成28年度	中宇治エリアに点在する観光トイレ等の観光施設の修繕を行った。また、JR宇治駅前、夢浮橋ひろば、天ヶ瀬吊橋前、宇治神社前の4ヶ所の公衆便所について、改修に係る設計を行った。	
		平成29年度	JR宇治駅前、天ヶ瀬吊橋前観光トイレの修繕や宇治橋西詰水飲み場の修繕等観光施設の修繕を行った。	

	事業名		事業結果	
	事業名	事業結果	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	観光振興計画推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」の推進に向け、学識経験者、(公社)宇治市観光協会、宇治商工会議所、平等院、商店街、茶業関係者などで構成する「宇治市観光振興計画推進委員会」において、宇治の観光活性化のための議論を行った。	
		平成28年度	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」の推進に向け、学識経験者、(公社)宇治市観光協会、宇治商工会議所、平等院、商店街、茶業関係者などで構成する「宇治市観光振興計画推進委員会」において、宇治の観光活性化のための議論を行った。さらに、平成28年度は宇治市内主要観光施設周辺や京都市内、各商店街において観光動向調査を実施し、また、台湾を対象としたインターネット調査も実施した。	
		平成29年度	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」の推進に向け、学識経験者、(公社)宇治市観光協会、宇治商工会議所、平等院、商店街、茶業関係者などで構成する「宇治市観光振興計画推進委員会」において、宇治の観光活性化のための議論を行い、前年度より実施していた観光動向調査も引き続き実施した。また、「宇治市観光振興計画後期アクションプラン策定委員会」を設置し、平成30年度より実施する後期アクションプランの策定を行った。	
	観光活性化事業補助金 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	花火大会代替イベント等宇治の観光振興に係るイベント等に対して(公社)宇治市観光協会等へ助成を行った。	
		平成28年度	花火大会代替イベントや鵜飼事業、観光宣伝事業等宇治の観光振興に係るイベント等に対して(公社)宇治市観光協会等へ助成を行った。	
		平成29年度	鵜飼事業や観光宣伝事業等宇治の観光振興に係るイベント等に対して(公社)宇治市観光協会等へ助成を行った。	
	グラウンド・ゴルフ場整備事業	平成27年度		
		平成28年度	平成22年度に開所したグラウンド・ゴルフ場に新たに第3コース及び駐車場を整備し、平成29年秋頃の供用に向けて、造成工事及び張芝工事などに着手した。 整備概要 コース 1コース8ホール(合計3コース24ホール) 駐車場 43台(合計102台) その他 東屋1棟(合計2棟)	
		平成29年度	平成22年度に開所したグラウンド・ゴルフ場に新たに第3コース及び駐車場を整備し、張芝工事完了後、養生期間を経て平成29年9月16日に全面オープンした。	

	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業		<p>平成27年度</p> <p>宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等広報印刷物の発行を行うとともに、市内Wi-Fi設置箇所拡充の促進、新たな観光資源としてアニメーションとの連携等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光雑誌「ことりっぷ」でのブックインブック制作 発行部数：10万部（雑誌発行部数） ・パンフレット「京都・宇治」増刷 発行部数：9万部 ・英語版パンフレット「京都・宇治」発行部数：7万部 ・Wi-Fi設置箇所：40箇所（平成27年度末現在） ・宇治探訪マップ（アニメ「響け！ユーフォニアム」連携） 発行部数：5万部
	<p>観光情報発信事業 （平成27年度地方創生加速化交付金対象） （平成29年度地方創生推進交付金対象）</p>	<p>平成28年度</p> <p>宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等の発行、広報物への観光情報の掲載を行った。また、新たな観光資源であるアニメーションの活用や他団体との連携業務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国語版パンフレット「京都・宇治」 発行部数：繁体字・簡体字各4万部 ・宇治市観光大使（10名）就任 11月14日 ・宇治市×京阪電車舞台めぐりマップ制作（アニメ「響け！ユーフォニアム」連携） ・宇治市観光PR記事掲載「関西ウォーカー」 平成29年1月24日、3月7日発売号掲載 ・京ごよみ観光情報掲載 ・京都レストランウインターズスペシャル2017公式ガイドブック観光情報掲載 ・香港トップセールスの実施
		<p>平成29年度</p> <p>宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等の発行、広報物への観光情報の掲載を行った。また、新たな観光資源であるアニメーションの活用や他団体との連携業務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語版パンフレット「京都・宇治」増刷 ・宇治市観光大使の追加就任（3名） 9月22日 ・宇治市×京阪電車ユーフォニアム2コラボレーションフェスタ輝け！吹奏楽部広報物作成 ・京都市認定通訳ガイドの育成

	事業名	事業結果			
平成29年度 主な事業	観光案内サイン整備事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	宇治市歴史的風致維持向上計画の重点区域及び黄檗エリアにおいて、宇治市内観光サインの現況について調査を行った上で、宇治市観光案内サイン等整備計画策定委員会を開催し、宇治市観光案内サイン整備ガイドラインを取りまとめた。		
		平成28年度	宇治市歴史的風致維持向上計画の重点区域である中宇治地域及び三室戸寺周辺、萬福寺周辺エリアにおいて、観光案内サイン整備推進委員会の方針として「撤去」「改修」が示された宇治市以外が設置したサインについて、設置主体への説明と調整を図った。また、サイン整備後の維持管理手法等について、委員会において議論を行った。		
		平成29年度	「宇治市観光案内サイン整備ガイドライン」に基づき、平成29年度として新設2基、リノベーション5基、撤去11基の観光案内サイン整備を行った。		
評価・課題	<p>宇治の観光情報発信への様々な取組を行うことにより、宇治の認知度及び宇治への訪問意欲の向上に努めることができた。また、ハード面においては、宇治市観光案内サイン整備ガイドラインに沿った観光案内サインの整備の取組を進めることができた。さらに、放ち鶉飼の検討を進め、新たな資源の創造や市全体の魅力を活かした取組を進めることができた。今後は、観光客の宇治市満足度や観光客のリピーター割合の重要業績評価指標の目標の達成に向けて、継続的に取組を進めるとともに、さらなる観光客に対するおもてなし力の向上に努める必要がある。</p> <p>引き続き、観光サインの整備等を進め観光客の受け入れ環境の充実を図るとともに、新たな資源を活用するなど、市全体の魅力的な資源を活かして、さらなる観光誘客を図る必要がある。</p>				
平成30年度 拡充事業	<table border="1" data-bbox="353 1326 958 1406"> <thead> <tr> <th data-bbox="353 1326 958 1366">事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="353 1366 958 1406">観光情報発信事業費</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	観光情報発信事業費
事業名					
観光情報発信事業費					

<具体的施策>

③観光インバウンド推進事業								
目標	東京オリンピック・パラリンピックを見据えつつ、外国人観光客のさらなる誘客を図るため、源氏物語ミュージアムをはじめ、宇治の魅力を世界に発信する。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	市営茶室対鳳庵外国人観光客数	6,059人 (H26年度)	7,198人	8,442人	11,803人			目標達成 9,000人 ↓ 13,000人 (H31年度)
	源氏物語ミュージアムでの音声ガイド貸出件数	4,021件 (H26年度)	3,671件	6,159件	8,182件			目標達成 6,500件 ↓ 14,000件 (H31年度)
平成29年度 主な事業	事業名		事業結果					
	観光インバウンド推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)		平成27年度	海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行った。香港ウォーカー・ジャパンウォーカーに宇治情報を掲載するとともに、中国本土にて放映されるケーブルTV番組「関西印象」での放映及び中国動画サイトでの配信を行った。 ・香港ウォーカー 発行部数：70,000部 ・ジャパンウォーカー（台湾で発行） 発行部数：100,000部 ・関西印象（中国全土で放映） 放送日：平成27年12月27日、平成28年1月2日、3日 動画再生：約27万アクセス（平成27年度末現在）				
			平成28年度	海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行った。香港ウォーカー・ジャパンウォーカーに宇治情報を掲載した。 ・香港ウォーカー 発行部数：70,000部 ・ジャパンウォーカー（台湾で発行） 発行部数：100,000部				
			平成29年度	海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行った。香港ウォーカー・ジャパンウォーカーに宇治情報を掲載した。 ・香港ウォーカー 発行部数：70,000部 ・ジャパンウォーカー（台湾で発行） 発行部数：100,000部				

	事業名	事業結果			
	平成29年度 主な事業	源氏物語ミュージアム広報活動事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	旅行情報誌等、計6誌に当館の広告を掲載した。新たに、東京メトロガイドに挿入される「京あれこれ」に広告を掲載し、関東方面からの誘客を図った。	
平成28年度			旅行情報誌等、計5誌に当館の広告を掲載した。引き続き関東地方の鉄道会社設置のフリーペーパーを用いた広報を行い、関東方面からの誘客を図るほか、英文情報誌を2誌に拡大し、外国人観光客に向けた広報を強化した。		
平成29年度			訪日外国人観光客を対象に英文情報誌に広告を掲載するほか、新たに、夏休み期間の8月と訪日外国人観光客が増える1月に、JR京都駅構内改札口付近に、デジタルサイネージ広告を掲出し、来館者数の増加につながった。		
評価・課題	<p>海外に向けた宇治の情報発信を行うことにより、海外からの観光誘客を図ることができた。</p> <p>重要業績評価指標の目標は達成しており、効果的に事業実施できているため、今後も、引き続き、様々なメディアを利用した情報発信に努めるとともに、外国人観光客のさらなる誘客に向けて、東京オリンピック・パラリンピックも見据えながら、外国人観光客に向けた広報を強化し、受け入れ環境の整備や海外向けセールスを拡充する必要がある。</p>				
平成30年度 拡充事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>源氏物語ミュージアム広報活動費</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	源氏物語ミュージアム広報活動費
事業名					
源氏物語ミュージアム広報活動費					

<具体的施策>

④宇治茶活用事業

目標 観光客をはじめ、来訪者等を「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき、市民・茶業者とともに宇治茶でおもてなしするほか、宇治茶を巡るツアーの実施など、宇治茶を活用した事業により、宇治茶のブランド力の向上とさらなる観光誘客を図る。また、日本遺産に認定された「日本茶800年の歴史散歩」を活かしながら、京都府や近隣市町と連携し、より効果的な取組を推進する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	宇治茶を目的に宇治へ来る割合	15% (H23年度)	—	24.1%	—			30% (H34年度)
	宇治茶巡りガイドツアー参加者数	0人 (H26年度)	1,036人	847人	822人			1,200人 (H31年度)

※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施（宇治茶を目的に宇治へ来る割合等を把握）

平成29年度 主な事業	事業名	事業結果		
	お茶の京都DMO協議会負担金 （平成27年度地方創生加速化交付金対象） （平成29年度地方創生推進化交付金対象）	平成27年度	京都府が中心となって設立された、お茶の京都DMO設立推進協議会の運営に参画し、積極的に関わることで、お茶の京都DMO（正式名称：一般社団法人京都山城地域振興社）が設立された。	
		平成28年度		
		平成29年度	お茶の京都DMOが設立され、府内12市町村エリアの観光市域づくりを進め、お茶の京都エリアを巡るタクシー周遊プランの販売やバスツアー、まち歩きガイドツアー等の企画・販売により、交流人口の拡大と宇治茶をはじめとする地域資源ブランドの振興を図った。	

	事業名		事業結果	
平成29年度 主な事業	お茶の京都博開催事業費 (平成29年度地方創生推進化交付金対象)	平成27年度		
		平成28年度		
		平成29年度		
	宇治茶宣伝事業費補助金 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進化交付金対象)	平成27年度	<p>公益社団法人京都府茶業会議所への支援により、宇治市はもとより、遠方への宣伝活動ができ広く宇治茶ブランドを消費者に知っていただくことができ、宇治茶の普及・消費拡大に繋ぐことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」：5月2日（土）約5,000人 	
		平成28年度	<p>現在、リーフ茶の長期低迷からなかなか脱却できず、一般家庭での急須でお茶を飲む生活習慣が衰退してきている事が危惧されており、そのような中で、宇治茶をもっと飲んでもらうため、宇治茶の効能や美味しさ、素晴らしい伝統文化を消費者に伝えていき、宇治茶の一層の消費拡大を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」：5月1日（日）約6,000人 	
		平成29年度	<p>平成27年度・28年度に引き続き、T-1グランプリや宇治茶ふれあい教室など児童向けの事業を行ない宇治茶文化の理解促進を図ることができた。</p> <p>「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」：5月2日（火）約3,500人</p>	

	事業名		事業結果	
	事業名	事業結果	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	宇治茶普及宣伝事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進化交付金対象)	平成27年度	5月に宇治茶の最初の製造過程である手で摘む茶摘みを市民の方に実際に体験してもらう「市民茶摘みのつどい」を開催し、新茶の振る舞いも含め、参加者約400人に宇治茶の良さを知ってもらった。	
		平成28年度	5月に宇治茶の最初の製造過程である手で摘む茶摘みを市民の方に実際に体験してもらう「市民茶摘みのつどい」を開催し、新茶の振る舞いも含め、参加者約400人に宇治茶の良さを知ってもらった。	
		平成29年度	5月に宇治茶の最初の製造過程である手で摘む茶摘みを市民の方に実際に体験してもらう「市民茶摘みのつどい」を開催し、新茶及び碾玉の振る舞いも含め、参加者約450人に宇治茶の良さを知ってもらった。	
	市営茶室管理運営事業 (茶室茶道体験等)	平成27年度	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっている。 入席者数 21,632人	
		平成28年度	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっている。 入席者数 21,329人	
		平成29年度	宇治茶の及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっている。 入席者数 24,800人	
	宇治茶巡りガイドツアー事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進化交付金対象)	平成27年度	宇治茶をテーマに茶園・茶問屋街・茶工場等を巡る無料ガイドツアーを実施した。 ツアー参加者 1,036人	
		平成28年度	宇治茶をテーマに茶園・茶問屋街・茶工場等を巡る無料ガイドツアーを実施した。 ツアー参加者 847人	
		平成29年度	宇治茶をテーマに茶園・茶問屋街・茶工場等を巡る無料ガイドツアーを実施した。 ツアー参加者 822人	

平成29年度 主な事業	事業名	事業結果	
	宇治茶おもてなし推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進化交付金対象)	平成27年度	<p>各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年7月京都縦貫自動車道全線開通記念プレオープンイベント ・9月国民参加の森林づくりシンポジウム ・平成28年2月京あるきin東京2016～恋する京都ウィークス～3月渋谷ヒカリエプロモーション（鎧塚俊彦シェフ×宇治茶伝道師小山茂樹氏対談トークショー）日本旅行大宮支店前プロモーション ・宇治市役所1階市民交流ロビー給茶機を平成27年7月から約1ヶ月間、市内産玉露かりがねの新茶が味わえる特別仕様にした。 ・市主催の会議等の際に用意する飲み物について市内産玉露かりがねを使用した。 ・市職員向けにお茶の淹れ方研修を実施した。（全5回実施）
		平成28年度	<p>各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年9月第24回京都観光プロモーションにて旅行会社向け碾玉PR ・10月京都駅JR東海ツアーズ前にて碾玉発売記念PR10月関西産業観光博覧会（関西国際空港）にて碾玉PR ・11月宇治市観光協会（観光センター）にて碾玉試飲会 ・11月宇治市観光大使就任式（市役所）にて安田美沙子さんと碾玉乾杯 ・平成29年2月プロモーション会議京都（京都テルサ）にて旅行会社向け碾玉PR他 ・宇治市役所1階市民交流ロビー給茶機を7月から約2週間、市内産玉露かりがねの新茶が味わえる特別仕様にした。 ・市主催の会議等の際に用意する飲み物について市内産玉露かりがねを使用した。 ・市職員向けにお茶の淹れ方研修を実施した。（全3回実施）
		平成29年度	<p>お茶の京都ターゲットイヤーに係るイベントを含む各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 お茶の京都 さくら茶会 碾玉PR ・7月 お茶の京都 日本遺産サミット 碾玉PR ・10月 お茶の京都 石清水八幡宮Chazz 碾玉PR ・平成30年3月 お茶の京都 テイクオフパーティー 碾玉PR ・宇治市役所1階市民交流ロビーにて、7月27日・8月15日の二日間、市内産水出し玉露の新茶が味わえる環境を提供した。 ・市主催の会議等の際に用意する飲み物について市内産玉露かりがねを使用した。 ・市職員向けにお茶の淹れ方研修を実施した。（計4回実施）

	事業名		事業結果	
	事業名	事業結果	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	高品質茶推進事業補助金 (平成29年度地方創生推進化交付金対象)	平成27年度	宇治茶の名声を維持し優良高品質茶の生産を促進するため、市内の茶生産者団体が生産する茶の品質の改善や生産性の向上等に寄与している。	
		平成28年度	平成27年度に引き続き、宇治茶製法の特色である「手摘み」・「覆下栽培」をすすめるとともに環境にやさしい茶生産を推進することができた。	
		平成29年度	平成27年度・28年度に引き続き、市内の茶生産者団体の高品質栽培における必要経費に対し、補助金を交付し、宇治市の伝統産業である宇治茶の生産振興を図ることができた。	
	茶・茶園品評会出品奨励費 (平成29年度地方創生推進化交付金対象)	平成27年度	近年、産地間競争が激しくなる中で、本市の特産である宇治茶の生産技術の改善と品質の向上を図るため、茶の特質を明らかにすることができる各種品評会の出品者へ奨励金、入賞者へ報奨金等を交付し、出品を奨励することができた。	
		平成28年度	産地間競争に対抗するだけでなく、市内の茶生産者間においても生産技術を研磨することができた。	
		平成29年度	平成27年度・28年度に引き続き、出品を奨励し、市内の茶生産者の生産技術の改善を図るとともに、全国・関西茶品評会において、出品茶種ごとに審査成績得点が最優秀の市町村に対して贈られる産地賞受賞に向けて、出品を奨励することができた。	
	宇治茶まつり事業への支援	平成27年度	茶祖並びに茶業先覚者を祀り宇治茶並びに観光の振興に資すると共に地域社会の発展に寄与することを目的とした宇治茶祭奉賛会の活動を支援することで、宇治茶と観光宇治の宣伝を強力に推進している。 ・「宇治茶まつり」：10月4日（日）約35,000人 (関西茶業振興大会消費イベントと併催)	
		平成28年度	会費を上げたり、運営形態の見直しなどしているが収支は厳しい。支援により伝統的行催事をつつがなく行う事ができ、宇治茶並びに観光の振興に寄与している。 ・「宇治茶まつり」：10月2日（日）約12,000人	
		平成29年度	平成27年度・28年度に引き続き、宇治茶及び観光の振興に寄与していると同時に、お茶の京都ターゲットイヤーの盛り上げりを継続させることができた。 ・「宇治茶まつり」：10月1日（日）約10,000人	

評価・課題

「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づく各種事業の実施や市営茶室「対鳳庵」での宇治茶の提供により、宇治茶の普及及び観光の振興を図ることができた。

宇治茶巡りガイドツアー参加者数は前年度を下回っており、改善を図るため更に積極的な広報活動を行いツアー参加者数の向上により宇治茶の普及に取り組む必要がある。

今後は、宇治茶ブランドの向上とさらなる観光誘客を図るため、事業効果を検証しながら、国内外に対して「対鳳庵」のPR強化をはじめ、引き続き宇治茶を活用した事業を実施していく必要がある。さらに、「お茶の京都」構想に関する取組を、京都府をはじめとした関係団体と連携を図りながら、広域的な取組もあわせて引き続き推進していく必要がある。

<具体的施策>

⑤宇治茶ブランド化事業									
目標	市内産宇治茶のブランド化を進め、確固たるものとするこで、宇治茶はもとより本市のブランド力の向上を図る。								
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	
	宇治茶を目的に宇治へ来る割合	15% (H23年度)	—	24.1%	—			30% (H34年度)	
※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施（宇治茶を目的に宇治へ来る割合等を把握）									
平成29年度 主な事業	事業名		事業結果						
	市内産宇治茶ブランド化推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成28年度地方創生推進交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)		平成27年度	業務委託を行い、茶業に関する現状を把握するための各種調査を実施した。また、調査結果に基づき「市内産宇治茶」のブランディング戦略構築のための「研究会」を開催し、市内産宇治茶振興に向けた取組案や「碾玉」の活用方法についての提言を受けた。					
			平成28年度	平成27年度に市内産宇治茶のブランド化戦略のため、開催した研究会で提言を受けた取組案について、具体的にリーフレットなどを活用した宇治茶の情報発信、平成28年10月に「碾玉」の発売・PR、「宇治碾茶」の商標登録に向けた認証制度導入のための検討会（全14回）などの取組を実施した。					
			平成29年度	市内産宇治茶のブランド力強化や「碾玉」の今後の方針について、アドバイザー・茶商・生産農家・市を交えて検討会を実施した。（1月15日実施） また、お茶の京都ターゲットイヤーに係るイベントを含む各種イベントにて、ブランド力強化のツールである碾玉の振る舞いなどを通して、PRを実施した。 平成29年4月：お茶の京都博さくら茶会 7月：お茶の京都博日本遺産サミット 9月：日本橋イベントスペース「宇治茶のおもてなし市」 10月：お茶の京都博石清水八幡宮Chazz 平成30年3月：お茶の京都博テイクオフパーティーアスパアやましろ					

	事業名	事業結果	
平成29年度 主な事業	産業連関表策定事業	平成27年度	産業連関表策定のための基礎データの収集と市内事業所へのアンケート調査を行った。
		平成28年度	市内経済の統計情報の分析と、市内事業所へのアンケート結果の取りまとめを行い、産業連関表策定のための準備を行った。
		平成29年度	京都府産業連関表の公表を受けて、経済センサスをはじめとする各種統計資料から推計を行い、市内事業所へのアンケート結果も踏まえて、平成26年宇治市産業連関表を作成した。
評価・課題	<p>お茶の京都ターゲットイヤーに係る各種イベントを実施することなどを通して、宇治茶のブランド価値を高めることができた。今後は、宇治市版産業連関表を活用し策定する産業戦略において具体的な施策を定め、さらなる宇治ブランドの確立に向け、生産農家の後継者育成を図るとともに取組を推進していく必要がある。</p>		

<具体的施策>

⑥源氏物語のまちづくり等事業								
目標	本市は源氏物語宇治十帖の舞台となったまちであり、これまでから源氏物語のまちづくりを進めている。引き続き、源氏物語ミュージアムを中心に、源氏物語に関わる他市と連携した取組など、源氏物語を活かしたまちづくりを進め、本市のブランド力の向上を図る。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	源氏物語ミュージアム来館者数	118,377人 (H26年度)	112,372人	89,979人	91,136人			160,000人 (H31年度)
平成29年度 主な事業	事業名		事業結果					
	企画展示 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)		平成27年度	毎回テーマを工夫し、他館との連携や関連事業を実施した。 ・源氏物語の美術工芸 ・小林等の源氏絵 ・絵で見る平安時代 ―王朝びとのくらし― ・小倉百人一首殿堂「時雨殿」連携企画 紫式部と源氏物語 ・宇治市歴史資料館合同企画 「源氏」的なるものと宇治 都名所図会の世界 ・源氏物語 かさねの色目 ―宇治十帖の世界―				
			平成28年度	毎回テーマを工夫し、他館との連携や関連事業を実施した。 ・源氏物語 かさねの色目 ―宇治十帖の世界― ・宇治市歴史資料館合同企画 なんといってもお茶は宇治 ・源氏ワンダーランド ―平安時代の人々とくらし― ・源氏物語の音楽 ・超絶技巧！銅版画の世界 ―描かれた京都― ・江戸時代の源氏物語 ―見立てとやつし―				
			平成29年度	毎回テーマを工夫し、他館との連携や関連事業を実施した。 ・江戸時代の源氏物語 ―見立てとやつし― ・宇治市歴史資料館合同企画 都名所図会の世界 ―歌枕から名所へ― ・源氏ワンダーランド ―貴族のジョーシキ！？― ・史料はかたる！宇治の橋姫 ・寿ぐ屏風絵 ・宇治市歴史資料館合同企画 お茶と名所と宇治と				

	事業名		事業結果	
	事業名	事業結果	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	源氏物語ミュージアムリニューアル事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	平成27年度		
		平成28年度		「宇治市源氏物語ミュージアムリニューアル基本構想」、「宇治市源氏物語ミュージアムリニューアル基本設計」を策定した。
		平成29年度		「宇治市源氏物語ミュージアムリニューアル基本構想」及び「宇治市源氏物語ミュージアムリニューアル基本設計」に基づき、実施設計が完了した。
	宇治十帖スタンプラリー開催事業 (平成28年度地方創生推進交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度		宇治十帖の古跡をめぐる基本コースと、宇治上神社及び平等院など史跡・寺社を巡る健脚コースの2コースを設定し、スタンプラリーを開催した。 開催日数 5日(10月24日、25日、31日、11月1日、3日) 踏破者数 17,744人
		平成28年度		宇治十帖の古跡をめぐる基本コースと、宇治上神社及び平等院など史跡・寺社を巡る健脚コースの2コースを設定し、スタンプラリーを開催した。 開催日数 5日(10月22日、23日、29日、30日、11月3日) 踏破者数 17,503人
		平成29年度		宇治十帖の古跡をめぐる基本コースと、宇治上神社及び平等院など史跡・寺社を巡る健脚コースの2コースを設定し、スタンプラリーを開催した。 開催日数 4日(10月28日、11月3日、4日、5日) ※10月29日は荒天のため中止 踏破者数 12,674人
	紫式部文学賞及び紫式部市民文化賞贈呈式及び記念イベント (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度		11月15日に贈呈式と記念イベントを行った。記念イベントでは、約1,300人の観客に対して源氏物語の朗読及び瀬戸内寂聴源氏物語ミュージアム名誉館長と假屋崎省吾氏(華道家)による講演を行った。
		平成28年度		文学賞の受賞作品は平田俊子氏の「戯れ言の自由」に決定し、11月20日に贈呈式と記念イベントを行った。贈呈式の前に源氏物語クイズが行われ、贈呈式のオープニングとして源氏物語の朗読を実施した。記念イベントでは、「”美と艶”の今昔～平安から平成まで～」と題し、井上章一氏(国際日本文化研究センター教授)による講演等を行った。
		平成29年度		文学賞の受賞作品は津村記久子氏の「浮遊霊ブラジル」に決定し、11月19日に贈呈式と記念イベントを行った。贈呈式では、朗読サークルによる受賞作品の朗読を行い、記念イベントでは、茂山逸平氏(能楽師狂言方)による講演及び新作狂言「ひめあそい～源氏物語“葵上”より～」の上演を行った。

	事業名	事業結果			
平成29年度 主な事業	古典の日推進事業	<p>平成27年度</p> <p>古典の日の制定を目指し古典の日宣言を行い、古典の日推進委員会（府・京都市・宇治市等で構成）が法制化に向けて活動を行ってきた。その結果平成24年9月に「古典の日に関する法律」が制定、施行された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法制化達成以降、恒常的な推進活動は継続している。 ・古典の日推進委員会において様々な古典に親しむ事業を実施している。 ・古典の日推進委員会主催で、琳派400年記念 古典の日フォーラム2015を開催した。 <p>平成28年度</p> <p>平成20年11月1日に「源氏物語千年紀委員会」が開催した記念式典において、11月1日を「古典の日」とする宣言を行い、京都府・京都市・宇治市等で構成する古典の日推進委員会が法制化に向けた活動を行ってきた。その結果、平成24年9月に「古典の日に関する法律」が制定、施行された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律の施行後も恒常的な推進活動は継続しており、古典の日推進委員会において様々な古典に親しむ事業を実施している。 ・古典の日推進委員会主催で、「源氏物語」をメインテーマとした古典の日フォーラム2016を開催した。 <p>平成29年度</p> <p>平成20年11月1日に「源氏物語千年紀委員会」が開催した記念式典において、11月1日を「古典の日」とする宣言を行い、京都府・京都市・宇治市等で構成する古典の日推進委員会が法制化に向けた活動を行ってきた。その結果、平成24年9月に「古典の日に関する法律」が制定、施行された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律の施行後も恒常的な推進活動は継続しており、古典の日推進委員会において様々な古典に親しむ事業を実施している。 ・古典の日推進委員会主催で、「古典」をメインテーマとした古典の日五周年記念・古典の日フォーラム2017を開催した。 			
評価・課題	<p>源氏物語ミュージアムでは、毎回テーマを工夫した話題性のある企画展の開催により、観覧者に満足度の高い展示を提供することができた。</p> <p>また、宇治十帖スタンプラリーなど、源氏物語をテーマとするイベントを開催してきたことにより、市民の文化活動の活性化及び「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができた。</p> <p>「観光」と「生涯学習」の拠点としての源氏物語ミュージアムの来館者数は10万人を下回っているが、平成30年度に予定している開館20周年のリニューアルや更に魅力ある企画展の開催により、新規来館・再来館者の増加を目指し、本市のブランド力の向上につなげることが必要である。</p>				
平成30年度 拡充事業	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企画展示費</td> </tr> <tr> <td>源氏物語ミュージアムリニューアル事業費</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	企画展示費	源氏物語ミュージアムリニューアル事業費
事業名					
企画展示費					
源氏物語ミュージアムリニューアル事業費					

<具体的施策>

⑦宇治の魅力の深化事業								
目標	<p>(仮) お茶と宇治のまち歴史公園の整備を進め、新たな観光資源を創出するとともに、宇治茶や宇治の歴史情報をあわせて発信することで、宇治の魅力の深堀りによる周遊観光の促進を図る。また、宇治の伝統文化を次代へ引き継ぐとともに、文化や歴史など多くの恵まれた資源の有機的な連携による、さらなる魅力の向上(深化)を目指す。</p>							
重要業績評価指標(KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	重要文化的景観地区選定面積	228.5ha (H26年度)	228.5ha	228.5ha	228.5ha			520.0ha (H31年度)
平成29年度 主な事業	事業名		事業結果					
	文化的景観保護推進事業		平成27年度	重要文化的景観の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るため委員会を2回開催した。修理事業としては茶商中村藤吉本店の表屋の壁塗り直し事業、旧丸五百貨店建物の屋根修理事業、旧京都府茶業会議所建物の修理設計を行った。また、文化的景観整備計画書の印刷を行った。全国文化的景観地区連絡協議会の顧問市として、長野県千曲市で開催された全国大会を支援した。市民の文化的景観への理解度を高めるため、文化的景観フォーラム2016を開催し50名の参加を得た。				
平成28年度			重要文化的景観の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るため委員会を2回開催した。修理事業としては旧京都府茶業会議所の耐震補強、外観・内部修理、屋根葺き替え修理事業を行った。また、「宇治の文化的景観」修理報告書を刊行した。全国文化的景観地区連絡協議会の顧問市として、石川県金沢市で開催された全国大会を支援した。市民の文化的景観への理解度を高めるため、文化的景観フォーラム2017を開催し50名の参加を得た。					
平成29年度			重要文化的景観の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るため委員会を1回開催した。修理事業としては福文製茶場の屋根葺き替え、旧丸五百貨店の外壁修理事業を行った。また、岩井勘造商店製茶工場の改修に向けた調査を行った。全国文化的景観地区連絡協議会の顧問市として、岐阜県岐阜市で開催された全国大会を支援した。市民の文化的景観への理解度を高めるため、文化的景観フォーラム2018を開催し50名の参加を得た。					

	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業		<p>平成27年度</p> <p>PF1方式による歴史公園交流ゾーンの整備に向けて、「実施方針の策定・公表」を6月に行い、また、9月に「特定事業の選定・公表」を行った。その後は、本事業の予算を確保するために必要な「債務負担行為」を議会に提案したが、議会の判断により、予算の確保はされなかった。国土交通省所管の社会資本整備総合交付金に係る都市再生整備計画の交付金については、1億9,460万円の交付が決定され、宇治市土地開発公社からの用地買戻しに充当した。一方史跡ゾーンでは、太閤堤築堤期を再現するAゾーンで遺構再現部基礎造成工事を行うとともに、石張り遺構の再現に使用するGRCパネル86.5㎡を製作した。また太閤堤が埋没し茶園ができ始めた江戸後期の景観再現を計画するBゾーンでは埋没期再現のための修景茶園の地形造成を行い、生涯学習センターでは太閤堤フォーラムを開催し120名の参加を得た。</p>
	(仮) お茶と宇治のまち歴史公園史跡・交流ゾーン整備事業	<p>平成28年度</p> <p>歴史公園交流ゾーンの整備については、従前計画の見直しに着手した結果、観光目的に特化する方向を軸に計画を見直すこととした。国土交通省所管の社会資本整備総合交付金に係る都市再生整備計画の交付金については、4億2,070万円の交付が決定され、用地買戻し等に充当した。史跡ゾーンでは、Aゾーンで石張り遺構の再現に使用するGRCパネル263.2㎡を設置した。一方Bゾーンでは、茶樹の植栽を体験する講座を実施し、また、石出しの発掘調査を行う中で、太閤堤フォーラムを開催し、発掘調査現場を見学をするなど50名の参加を得た。</p>
		<p>平成29年度</p> <p>歴史公園交流ゾーンの整備については、本事業に係る民間事業者の募集を実施した結果、2グループから事業内容の提案書が提出された。国土交通省所管の社会資本整備総合交付金に係る都市再生整備計画の交付金については、1億7,940万円の交付が決定され、用地買戻しに充当した。史跡ゾーンでは、Aゾーンで、給排水施設の一部を整備し、再現遺構を見学するためのデッキを設置した。一方Bゾーンでは、石出し4の発掘調査を行う中で、太閤堤フォーラムを開催し、発掘調査現場を見学するなど50名の参加を得た。</p>

	事業名		事業結果	
平成29年度 主な事業	宇治田楽まつり開催負担金 (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	<p>平安時代に栄えた田楽を、現代風アレンジし、10月17日に府立宇治公園中の島で盛大に宇治田楽まつりとして、実行委員会主催で開催した。</p> <p>出演者数 約100人 観覧者数 約2,500人</p>	
		平成28年度	<p>平安時代に栄えた田楽を、現代風アレンジし、10月15日に府立宇治公園中の島で盛大に宇治田楽まつりとして、実行委員会主催で開催した。</p> <p>出演者数 約120人 観覧者数 約2,500人</p>	
		平成29年度	<p>平安時代に栄えた田楽を、現代風アレンジし、宇治田楽まつりとして開催した。今年度はお茶の京都博センターイベント・宇治茶博@文化と同日の10月21日、22日の両日開催を予定していたが、雨天のため、10月21日に宇治市文化会館大ホールで開催した。</p> <p>出演者数 約100人 観覧者数 約800人</p>	
	宇治十帖スタンプラリー開催事業(再掲)	(1) - ⑥掲載		
	古典の日推進事業(再掲)	(1) - ⑥掲載		
評価・課題	<p>(仮) お茶と宇治のまち歴史公園の史跡整備に向け事業進捗を図るとともに、再現遺構デッキの設置と史跡整備工事及び太閤堤フォーラムを行うことにより、市民等に史跡の歴史的価値・必要性等を普及することができた。一方で、歴史公園交流ゾーンの整備については、民間事業者の募集を行った。今後は「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現に向けて、民間事業者の提案を審査し、優先交渉権者の選定に取り組んでいく必要がある。</p> <p>このほか、宇治田楽まつりや重要文化的景観も活かしながら、引き続き歴史的な資産と一体となった魅力あふれる宇治のまちづくりに努める必要がある。</p>			

(2) 『市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生』～宇治への愛着から定住促進につなげる～

目標	<p>人口減少に歯止めをかけるためには、人口の流入とあわせて、人口の流出抑制を図ることが重要である。市民の宇治への愛着の醸成を図るとともに、行政だけでなく市民自らが、魅力あるふるさと宇治を築くことで、宇治に住み続けたい思いへとつなげ、人口流出抑制を図る。</p>																																							
数値目標	<table border="1" data-bbox="349 355 2056 643"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民の宇治への愛着度</td> <td>83% (H25年度)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td>90% (H31年度)</td> </tr> <tr> <td>市民の定住意向</td> <td>61% (H25年度)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td>70% (H31年度)</td> </tr> <tr> <td>社会動態 (転入－転出数)</td> <td>-656人 (H26年)</td> <td>-889人</td> <td>-575人</td> <td>-318人</td> <td></td> <td></td> <td>0人 (H31年)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成30年度 アンケート調査実施予定（市民の宇治への愛着度・市民の定住意向等を把握）</p>								数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	市民の宇治への愛着度	83% (H25年度)	—	—	—			90% (H31年度)	市民の定住意向	61% (H25年度)	—	—	—			70% (H31年度)	社会動態 (転入－転出数)	-656人 (H26年)	-889人	-575人	-318人			0人 (H31年)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																																	
市民の宇治への愛着度	83% (H25年度)	—	—	—			90% (H31年度)																																	
市民の定住意向	61% (H25年度)	—	—	—			70% (H31年度)																																	
社会動態 (転入－転出数)	-656人 (H26年)	-889人	-575人	-318人			0人 (H31年)																																	
評価・課題	<p>社会動態は年々減少幅が縮小しており、これまでの取組の効果が一定表れているが、いまだ転出超過であり、人口の流入とあわせて、人口の流出抑制を図るための施策の実施が必要である。人口流出抑制のためには、宇治への愛着の醸成が必要であり、これまでの事業効果を検証する中、今年度実施予定の市民アンケート結果も踏まえ、今後も引き続き市民参画・協働による事業実施を行っていく必要がある。</p>																																							

<具体的施策>

①市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業

目標 魅力あるまちとなるためには、行政だけでなく市民がまちに愛着を持ち、まちづくりに参画することが重要であると考えことから、市民参画・協働によるふるさと宇治の創生を推進する。あわせて、ふるさと宇治の創生には市民の主体的な関わりが何よりも重要であるため、これらを担う人材の発掘・育成に取り組む。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	魅力発信プラットフォーム参加団体による魅力発信事業数	0件 (H26年度)	1件	2件	2件			

平成29年度 主な事業	事業名		事業結果				
	安全・安心まちづくり推進事業	平成27年度	年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。また、小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に補助金を交付した。加えて、宇治市第3次防犯推進計画を策定し、1,300部を作製した。				
		平成28年度	市民の防犯に対する意識を高めるきっかけとして、9月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。また、小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に補助金を交付した。				
		平成29年度	年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。また、小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に補助金を交付した。加えて、「子ども110番のいえ」の拡充に向けた検討を行い、新たに市内公共施設42か所を登録し、宇治署と安全・安心なまちづくりの取組みを推進した。				

平成29年度 主な事業	事業名	事業結果	
	市民と市長の対話ミーティング事業	平成27年度	<p>それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。</p> <p>・開催状況</p> <p>第9回 テーマ 若者の雇用支援について 日 時 5月30日（土）午後2時～4時 場 所 城南勤労者福祉会館</p> <p>第10回 テーマ 中小企業振興について 日 時 9月5日（土）午後2時～3時40分 場 所 宇治市産業振興センター</p> <p>第11回 テーマ 高校生のあふれるパワーで宇治市を元気に 日 時 12月5日（土）午後2時30分～4時 場 所 京都府立菟道高等学校</p> <p>第12回 テーマ 子育て支援の充実について 日 時 平成28年3月26日（土）午後2時～3時30分 場 所 親子広場「つむぎ」 宇治橋通り商店街内</p>
		平成28年度	<p>それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。</p> <p>・開催状況</p> <p>第13回 テーマ 住みなれた地域で生活していくために ～だれもがいきいきと暮らせるまちを目指して～ 日 時 6月4日（土）午後2時～4時30分 場 所 東宇治地域福祉センター</p> <p>第14回 テーマ 食育の推進で健康長寿日本一を 日 時 9月3日（土）午後1時～2時10分 場 所 南宇治コミュニティセンター</p>
		平成29年度	<p>それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。</p> <p>・開催状況</p> <p>第15回 テーマ 宇治市公共施設について考えよう！ 日 時 5月29日（月）午後7時30分～8時45分 場 所 菟道ふれあいセンター</p> <p>第16回 テーマ 女性が活躍できる社会について 日 時 12月3日（日）午後1時～1時30分 場 所 ゆめりあ うじ</p> <p>第17回 テーマ こどもの明るい未来について考える 日 時 1月25日（木）午後7時30分～9時 場 所 宇治市生涯学習センター</p> <p>第18回 テーマ 宇治のお茶を守り、育てる 日 時 3月3日（土）午後3時～4時30分 場 所 宇治市観光センター</p>

	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	文化祭開催事業	<p>子ども手づくり文化祭では、市立小学校の協力のもと、展示、クラフト、お茶席を開催し、市民文化芸術祭では、展示、舞台披露、お茶席、フリーマーケットを実行委員会主催で開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業（いけばな・音楽・写真・絵画）が開催された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども手づくり文化祭（開催日9月19日）来場者数 約2,400人 ・市民文化芸術祭（開催日10月24日、25日）参加者数 約1,000人、来場者数 約7,000人 ・同参加事業 参加者数 約750人、来場者数 約2,400人
	文化祭開催事業	<p>子ども手づくり文化祭では、市立小学校の協力のもと、展示、クラフト、お茶席を開催し、市民文化芸術祭では、展示、舞台披露、お茶席、フリーマーケットを開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業（いけばな・音楽・写真・絵画）を開催された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども手づくり文化祭（開催日9月22日）来場者数 約2,600人 ・市民文化芸術祭（開催日10月29日、30日）参加者数 約1,000人、来場者数 約5,700人 ・同参加事業 参加者数 約700人、来場者数 約2,400人
	文化祭開催事業	<p>子ども手づくり文化祭では、市立小学校の協力のもと、展示、クラフト、お茶席を開催し、市民文化芸術祭では、展示、舞台披露、お茶席（フリーマーケットは雨天のため中止）を開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業（いけばな・音楽・写真・絵画）を開催された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども手づくり文化祭（開催日9月23日）来場者数 約2,300人 ・市民文化芸術祭（開催日10月28日、29日）参加者数 約1,000人、来場者数 約3,500人 ・同参加事業 参加者数 約700人、来場者数 約2,100人

	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	まちづくり活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 6月29日～7月3日 目的 協議会の活動内容について紹介 ・ うじ井戸端会議 開催日 7月2日、11月27日、平成28年3月18日（計3回開催） 目的 まちづくりに関心がある方々の情報及び意見の交換、交流 ・ 宇治市まちづくり審議会 2回開催 宇治市まちづくり審議会部会 3回開催 ・ 認定した協議会に対して行う支援 専門家派遣件数 0件 活動費助成件数 2件
	まちづくり活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 9月5日～9月9日 目的 協議会の活動内容について紹介 ・ うじ井戸端会議 開催日 5月25日、9月8日、平成29年3月22日（計3回開催） 目的 まちづくりに関心がある方々の情報及び意見の交換、交流 ・ 宇治市まちづくり審議会 2回開催 宇治市まちづくり審議会部会 1回開催 ・ 認定した協議会に対して行う支援 専門家派遣件数 0件 活動費助成件数 3件 ・ 平等院表参道まちづくり協議会認定 12月26日
	まちづくり活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 10月23日～10月27日 目的 協議会の活動内容について紹介 ・ うじ井戸端会議 開催日 8月3日、10月24日（計2回開催） 目的 まちづくりに関心がある方々の情報及び意見の交換、交流 ・ 宇治市まちづくり審議会 1回開催 ・ 炭山地区まちづくり協議会認定 9月20日

平成29年度 主な事業	事業名	事業結果
	国際交流事業 (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度
平成28年度		<p>ヌワラエリヤ市からの公式訪問団の来訪、写真展の開催、咸陽市からの公式訪問団の来訪、小学生文通事業、カムループス市への公式訪問団と中学生訪問団の派遣、及びトンブソン・リバーズ大学への市民留学生の派遣などにより、友好都市との交流を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●咸陽市交流促進費…513千円 <ul style="list-style-type: none"> ・咸陽市公式訪問団来訪：3人（7月31日～8月2日） ●ヌワラエリヤ市交流促進費…800千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ヌワラエリヤ市公式訪問団来訪：6人（5月8日～5月11日） ●カムループス市交流促進費…5,429千円 <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市公式訪問団の派遣 行政訪問団員：4人（6月30日～7月6日） 市民訪問団員に随行の行政訪問団員：1人（6月30日～7月8日） ・市中学生訪問団の派遣（7月22日～7月28日） 市内在住の中学生：12人 引率者（市職員・中学校教諭）：2人 ・トンブソン・リバーズ大学市民留学生の派遣：3人 （自費留学生を含む）

	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	国際交流事業 (平成29年度地方創生推進交付金対象)	<p>平成29年度</p> <p>友好都市3市の写真展の開催、咸陽市との小学生文通事業、トンプソン・リバーズ大学への市民留学生の派遣及びトンプソン・リバーズ大学研修生の受入などにより、友好都市との交流を深めた。また、ヌワラエリヤ市への公式訪問団派遣再開等を検討するため調査員を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●咸陽市交流促進費…4千円 ●ヌワラエリヤ市交流促進費…1,137千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ヌワラエリヤ市調査団派遣：7月3日～7月7日 ●カムループス市交流促進費…2,472千円 <ul style="list-style-type: none"> ・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣：2人 ・トンプソン・リバーズ大学研修生の受入：28人（引率者含む）
	魅力発信プラットフォーム運営等事業 (再掲)	(1) -①掲載
評価・課題	<p>市民と市長の対話ミーティング事業では、各分野で活動している市民と活発な議論を行うことにより、市民参画・協働の推進及び地域力向上を図ることができた。さらに、まちづくり活動への支援や防犯推進組織の活動支援等の取組により、地域住民が参加した自主的な防犯活動の推進等を行うことができた。</p> <p>魅力発信プラットフォーム参加団体による魅力発信事業数の重要業績評価指標の目標は達成しているが、さらなる効果的な事業の展開につなげていくため、今後も、引き続き魅力発信プラットフォーム運営等の事業を実施し、市民参画・協働によるふるさと宇治の創生を推進していく必要がある。</p>	

<具体的施策>

②宇治への愛着醸成事業

<p>目標</p>	<p>宇治の子どもが宇治の魅力を知り・実感することで宇治への愛着を深めることをはじめ、魅力の再認識を通じて、すべての市民の宇治への愛着を深め、定住の促進を図る。</p>																								
<p>重要業績評価指標 (KPI)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="344 325 775 368">指標</th> <th data-bbox="777 325 958 368">基準値</th> <th data-bbox="960 325 1142 368">平成27年度</th> <th data-bbox="1144 325 1326 368">平成28年度</th> <th data-bbox="1328 325 1509 368">平成29年度</th> <th data-bbox="1512 325 1693 368">平成30年度</th> <th data-bbox="1695 325 1877 368">平成31年度</th> <th data-bbox="1879 325 2058 368">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="344 370 775 483">市民の定住意向</td> <td data-bbox="777 370 958 483">61% (H25年度)</td> <td data-bbox="960 370 1142 483">—</td> <td data-bbox="1144 370 1326 483">—</td> <td data-bbox="1328 370 1509 483">—</td> <td data-bbox="1512 370 1693 483"></td> <td data-bbox="1695 370 1877 483"></td> <td data-bbox="1879 370 2058 483">70% (H31年度)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="344 485 775 638">市内小学3年生に対し、宇治茶を使用した授業の時間数</td> <td data-bbox="777 485 958 638">0時間 (H26年度)</td> <td data-bbox="960 485 1142 638">4.6時間</td> <td data-bbox="1144 485 1326 638">6.7時間</td> <td data-bbox="1328 485 1509 638">4.1時間</td> <td data-bbox="1512 485 1693 638"></td> <td data-bbox="1695 485 1877 638"></td> <td data-bbox="1879 485 2058 638">5時間 (H31年度)</td> </tr> </tbody> </table>	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	市民の定住意向	61% (H25年度)	—	—	—			70% (H31年度)	市内小学3年生に対し、宇治茶を使用した授業の時間数	0時間 (H26年度)	4.6時間	6.7時間	4.1時間			5時間 (H31年度)
指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																		
市民の定住意向	61% (H25年度)	—	—	—			70% (H31年度)																		
市内小学3年生に対し、宇治茶を使用した授業の時間数	0時間 (H26年度)	4.6時間	6.7時間	4.1時間			5時間 (H31年度)																		
<p>※平成30年度 アンケート調査実施予定（市民の定住意向等を把握）</p>																									
<p>平成29年度 主な事業</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="344 738 911 778">事業名</th> <th data-bbox="913 738 2058 778">事業結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="344 780 911 853">魅力発信プラットフォーム運営等事業（再掲）</td> <td data-bbox="913 780 2058 853">（1）－①掲載</td> </tr> <tr> <td data-bbox="344 855 911 928">ふるさと応援施策推進事業（再掲）</td> <td data-bbox="913 855 2058 928">（1）－①掲載</td> </tr> <tr> <td data-bbox="344 930 911 1493" rowspan="3">保育所・幼稚園・小学校での環境啓発事業</td> <td data-bbox="913 930 2058 1118"> <p>平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園等21園で、収集作業とともに、ごみの分別などを題材とした紙芝居を中心とした実演を実施。 ・小学校21校で、授業の一環として、ごみ問題の現状や資源の有効活用等の学習と、収集作業やごみ収集車の構造学習を実施。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="913 1120 2058 1308"> <p>平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園等22園で、収集作業とともに、ごみの分別などを題材とした紙芝居を中心とした実演を実施。 ・小学校21校で、授業の一環として、ごみ問題の現状や資源の有効活用等の学習と、収集作業やごみ収集車の構造学習を実施。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="913 1310 2058 1493"> <p>平成29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園等30園で、収集作業とともに、ごみの分別などを題材とした紙芝居を中心とした実演を実施。 ・小学校21校で、授業の一環として、ごみ問題の現状や資源の有効活用等の学習と、収集作業やごみ収集車の構造学習を実施。 </td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業結果	魅力発信プラットフォーム運営等事業（再掲）	（1）－①掲載	ふるさと応援施策推進事業（再掲）	（1）－①掲載	保育所・幼稚園・小学校での環境啓発事業	<p>平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園等21園で、収集作業とともに、ごみの分別などを題材とした紙芝居を中心とした実演を実施。 ・小学校21校で、授業の一環として、ごみ問題の現状や資源の有効活用等の学習と、収集作業やごみ収集車の構造学習を実施。 	<p>平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園等22園で、収集作業とともに、ごみの分別などを題材とした紙芝居を中心とした実演を実施。 ・小学校21校で、授業の一環として、ごみ問題の現状や資源の有効活用等の学習と、収集作業やごみ収集車の構造学習を実施。 	<p>平成29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園等30園で、収集作業とともに、ごみの分別などを題材とした紙芝居を中心とした実演を実施。 ・小学校21校で、授業の一環として、ごみ問題の現状や資源の有効活用等の学習と、収集作業やごみ収集車の構造学習を実施。 														
事業名	事業結果																								
魅力発信プラットフォーム運営等事業（再掲）	（1）－①掲載																								
ふるさと応援施策推進事業（再掲）	（1）－①掲載																								
保育所・幼稚園・小学校での環境啓発事業	<p>平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園等21園で、収集作業とともに、ごみの分別などを題材とした紙芝居を中心とした実演を実施。 ・小学校21校で、授業の一環として、ごみ問題の現状や資源の有効活用等の学習と、収集作業やごみ収集車の構造学習を実施。 																								
	<p>平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園等22園で、収集作業とともに、ごみの分別などを題材とした紙芝居を中心とした実演を実施。 ・小学校21校で、授業の一環として、ごみ問題の現状や資源の有効活用等の学習と、収集作業やごみ収集車の構造学習を実施。 																								
	<p>平成29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園等30園で、収集作業とともに、ごみの分別などを題材とした紙芝居を中心とした実演を実施。 ・小学校21校で、授業の一環として、ごみ問題の現状や資源の有効活用等の学習と、収集作業やごみ収集車の構造学習を実施。 																								

	事業名		事業結果	
平成29年度 主な事業	「宇治学」推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	<p>本物の宇治茶を味わせるとともに、宇治で育ち宇治の将来を担う本市の児童生徒に宇治茶とおもてなしの心を培う学習を進められるよう、各小学校に抹茶碗・抹茶等を「宇治茶スタートセット」として配布し、市立全小学校第3学年で抹茶体験授業を実施した。</p> <p>各校の「宇治学」推進への支援を目的に、全小中学校で「宇治で学ぶ、宇治を学ぶ、宇治のために学ぶ」のコンセプトのもと、共通して学ぶ内容を各学年の重点単元として再構築し具体化するとともに、各小中学校で実施する「宇治学」学習がより一層充実したものとなるよう、「宇治学」副読本の作成を推進した。</p>	
		平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生、6年生で宇治の特色や課題等をテーマに、「探究的な学習」「協働的な学習」の学び方が学べるように副読本及び指導の手引きの作成及び配付 (テーマ) 小学校3年生・・・宇治茶のステキをつたえよう 小学校6年生・・・「ふるさと宇治」の魅力大発信 ・市立小学校22校の全てで3年生を対象とした抹茶体験授業を実施 	
		平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年生、中学校1年生(7年生)で宇治の特色及び課題などをテーマに、「探究的な学習」「協働的な学習」の学び方が学べるように副読本及び指導の手引きの作成及び配付 (テーマ) 小学校4年生・・・発見!!「ふるさと宇治」の自然を伝えよう 中学校1年生・・・命そして「ふるさと宇治」を守る ～私たち中学生としてできること～ ・市立小学校22校の全てで3年生を対象とした抹茶体験授業を実施 	
	「宇治学」宇治の魅力体験支援事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度		
		平成28年度	<p>宇治学(総合的な学習の時間)の学習において、市立小学校第6学年児童が、宇治の魅力を知り体感することで宇治への愛着を深めるため、世界遺産の平等院、宇治上神社などの史跡を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校6年生 約1,750人が体験 	
		平成29年度	<p>宇治学(総合的な学習の時間)の学習において、市立小学校第6学年児童が、宇治の魅力を知り体感することで宇治への愛着を深めるため、世界遺産の平等院、宇治上神社などの史跡を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校6年生 約1,700人が体験 	

評価・課題

児童・生徒に、地域の一員としての自覚を持って「ふるさと宇治」を愛し、より良い宇治を築こうとする自主的、実践的態度を養うため、「宇治学」（総合的な学習の時間）を展開できる副読本及び指導の手引を2つの学年で作成することができた。

市内小学校3年生に対し、宇治茶を使用した授業数の時間数について前年を下回っているが、目標とする授業時間を確保することで、宇治の子どもが宇治の魅力を知るための契機とすることが必要である。

今後も、これらを含め引き続き宇治への愛着を深め、定住の促進を図るための事業を実施していく必要がある。

<具体的施策>

③誰もが生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業									
目標	誰もが生き生きと暮らすことはまちの活力を生み出すことから、健康寿命の延伸を図り、健康長寿日本一に向けた取組を推進する。								
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	
	市民の定住意向	61% (H25年度)	—	—	—			70% (H31年度)	
※平成30年度 アンケート調査実施予定（市民の定住意向等を把握）									
平成29年度 主な事業	事業名		事業結果						
	健康づくり・食育推進事業		平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくりと食育の推進に関して協議・検討を行った（協議会開催回数2回）。 ・関係課での健康づくり、食育関連事業の実施。 ・文教短期大学、（株）典座、宇治市農産物直売会あさぎり市、職員厚生課とのコラボで、市役所食堂で「糖尿病予防のランチメニュー」の販売（6日間360食） 					
			平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくりと食育の推進に関して協議・検討を行った（協議会開催回数2回）。 ・関係課での健康づくり、食育関連事業の実施。 ・文教短期大学、（株）典座、宇治市農産物直売会あさぎり市、職員厚生課とのコラボで、市役所食堂で「メタボリックシンドローム予防のランチメニュー」の販売（5日間230食）。 					
			平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくりと食育の推進に関して協議・検討を行った（協議会開催回数2回）。 ・関係課での健康づくり、食育関連事業の実施。 ・文教短期大学、（株）典座、宇治市農産物直売会あさぎり市、職員厚生課とのコラボで、市役所食堂で「脂質異常症予防のランチメニュー」の販売（3日間180食）。 ・毎月19日の食育の日に「健康メニュー」を販売（毎月30食）。 ・関係課、関係団体、企業と連携した健康づくり・食育の取組18事例実施。 					

平成29年度 主な事業	事業名	事業結果																										
	初期認知症総合相談支援事業	平成27年度	<p>お元気チェックリスト回答者を訪問し、現状把握と早期支援を行った。また認知症の人やその家族や地域の人に対し、居場所・生きがいづくり・ピアサポート・認知症に関する正しい普及啓発の場として、認知症対応型カフェ（れもんカフェ）を行った。認知症初期集中支援チームの実施や認知症講演会、認知症フォーラムin宇治を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>お元気チェックリスト該当者訪問</td> <td>訪問延べ人数</td> <td>625人</td> </tr> <tr> <td>認知症対応型カフェ（れもんカフェ）</td> <td>参加延べ人数</td> <td>876人</td> </tr> <tr> <td>初期集中支援チーム員会議</td> <td></td> <td>70回</td> </tr> <tr> <td>認知症初期集中支援チーム対応事例数</td> <td></td> <td>54事例</td> </tr> <tr> <td>認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数</td> <td></td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数</td> <td></td> <td>1,708人</td> </tr> <tr> <td>認知症講演会</td> <td>参加者数</td> <td>162人</td> </tr> <tr> <td>認知症フォーラムin宇治</td> <td>参加者数</td> <td>406人</td> </tr> </table>		お元気チェックリスト該当者訪問	訪問延べ人数	625人	認知症対応型カフェ（れもんカフェ）	参加延べ人数	876人	初期集中支援チーム員会議		70回	認知症初期集中支援チーム対応事例数		54事例	認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数		101人	認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数		1,708人	認知症講演会	参加者数	162人	認知症フォーラムin宇治	参加者数	406人
		お元気チェックリスト該当者訪問	訪問延べ人数	625人																								
		認知症対応型カフェ（れもんカフェ）	参加延べ人数	876人																								
初期集中支援チーム員会議		70回																										
認知症初期集中支援チーム対応事例数		54事例																										
認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数		101人																										
認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数		1,708人																										
認知症講演会	参加者数	162人																										
認知症フォーラムin宇治	参加者数	406人																										
平成28年度	<p>お元気チェックリスト回答者を訪問し、現状把握と早期支援を行った。また認知症の人やその家族や地域の人に対し、居場所・生きがいづくり・ピアサポート・認知症に関する正しい普及啓発の場として、認知症対応型カフェ（れもんカフェ）を行った。認知症初期集中支援チームの実施や認知症講演会、認知症フォーラムin宇治を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>お元気チェックリスト該当者訪問</td> <td>訪問延べ人数</td> <td>703人</td> </tr> <tr> <td>認知症対応型カフェ（れもんカフェ）</td> <td>参加延べ人数</td> <td>780人</td> </tr> <tr> <td>初期集中支援チーム員会議</td> <td></td> <td>60回</td> </tr> <tr> <td>認知症初期集中支援チーム対応事例数</td> <td></td> <td>60事例</td> </tr> <tr> <td>認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数</td> <td></td> <td>91人</td> </tr> <tr> <td>認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数</td> <td></td> <td>3,835人</td> </tr> <tr> <td>認知症講演会</td> <td>参加者数</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>認知症フォーラムin宇治</td> <td>参加者数</td> <td>250人</td> </tr> </table>		お元気チェックリスト該当者訪問	訪問延べ人数	703人	認知症対応型カフェ（れもんカフェ）	参加延べ人数	780人	初期集中支援チーム員会議		60回	認知症初期集中支援チーム対応事例数		60事例	認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数		91人	認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数		3,835人	認知症講演会	参加者数	150人	認知症フォーラムin宇治	参加者数	250人		
お元気チェックリスト該当者訪問	訪問延べ人数	703人																										
認知症対応型カフェ（れもんカフェ）	参加延べ人数	780人																										
初期集中支援チーム員会議		60回																										
認知症初期集中支援チーム対応事例数		60事例																										
認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数		91人																										
認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数		3,835人																										
認知症講演会	参加者数	150人																										
認知症フォーラムin宇治	参加者数	250人																										
平成29年度	<p>お元気チェックリスト回答者を訪問し、現状把握と早期支援を行った。また認知症の人やその家族や地域の人に対し、居場所・生きがいづくり・ピアサポート・認知症に関する正しい普及啓発の場として、認知症対応型カフェ（れもんカフェ）を行った。認知症初期集中支援チームの実施や認知症講演会、認知症フォーラムin宇治を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>お元気チェックリスト該当者訪問</td> <td>訪問延べ人数</td> <td>439人</td> </tr> <tr> <td>認知症対応型カフェ（れもんカフェ）</td> <td>参加延べ人数</td> <td>879人</td> </tr> <tr> <td>初期集中支援チーム員会議</td> <td></td> <td>48回</td> </tr> <tr> <td>認知症初期集中支援チーム対応事例数</td> <td></td> <td>57事例</td> </tr> <tr> <td>認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数</td> <td></td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数</td> <td></td> <td>2,240人</td> </tr> <tr> <td>認知症講演会</td> <td>参加者数</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>認知症フォーラムin宇治</td> <td>参加者数</td> <td>250人</td> </tr> </table>		お元気チェックリスト該当者訪問	訪問延べ人数	439人	認知症対応型カフェ（れもんカフェ）	参加延べ人数	879人	初期集中支援チーム員会議		48回	認知症初期集中支援チーム対応事例数		57事例	認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数		47人	認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数		2,240人	認知症講演会	参加者数	80人	認知症フォーラムin宇治	参加者数	250人		
お元気チェックリスト該当者訪問	訪問延べ人数	439人																										
認知症対応型カフェ（れもんカフェ）	参加延べ人数	879人																										
初期集中支援チーム員会議		48回																										
認知症初期集中支援チーム対応事例数		57事例																										
認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数		47人																										
認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数		2,240人																										
認知症講演会	参加者数	80人																										
認知症フォーラムin宇治	参加者数	250人																										

	事業名	事業結果	
平成29年度 主な事業	認知症の人にやさしいまち・うじの推進事業	平成27年度	<p>「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現のために、認知症当事者の視点に立った支援体制を構築する。</p> <p>平成27年に宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”(Leomon-Aid)を設立し、れもねいど推進協議会を設置した。</p> <p>市内を活動拠点とする事業者に広くれもねいどの趣旨に賛同を求め、れもねいどへの加盟登録を促進する。</p> <p>認知症の正しい理解をもったれもねいだー(ボランティア)の養成や、活動支援を行う。</p> <p>れもねいど推進協議会の開催 4回 れもねいだー 累計人数 31人 れもねいど加盟団体 16団体</p>
		平成28年度	<p>「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現のために、認知症当事者の視点に立った支援体制を構築する。</p> <p>平成27年に宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”(Leomon-Aid)を設立し、れもねいど推進協議会を設置した。</p> <p>市内を活動拠点とする事業者に広くれもねいどの趣旨に賛同を求め、れもねいどへの加盟登録を促進する。</p> <p>認知症の正しい理解をもったれもねいだー(ボランティア)の養成や、活動支援を行う。</p> <p>れもねいど推進協議会の開催 4回 れもねいだー 累計人数 66人 れもねいど加盟団体 累計団体数 34団体</p>
		平成29年度	<p>「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現のために、認知症当事者の視点に立った支援体制を構築する。</p> <p>平成27年に宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”(Leomon-Aid)を設立し、れもねいど推進協議会を設置した。</p> <p>市内を活動拠点とする事業者に広くれもねいどの趣旨に賛同を求め、れもねいどへの加盟登録を促進する。</p> <p>認知症の正しい理解をもったれもねいだー(ボランティア)の養成や、活動支援を行う。</p> <p>れもねいど推進協議会の開催 4回 れもねいだー 累計人数 90人 れもねいど加盟団体 46団体</p>

	事業名		事業結果	
平成29年度 主な事業	心身障害児通園事業	平成27年度	<p>障害児通園（児童デイサービス）事業について補助金を交付した。また、通園事業での療育を希望しながら待機となった子どもに対し、待機児親子サポート事業を実施しているが、平成27年度は待機児がなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童デイサービス <ul style="list-style-type: none"> 児童デイころぽっくる（アジュール舎） 宇治福祉園（宇治福祉園） かおり之園（かおり福祉会） 子ども発達サポートセンターあゆみ園（不動園） 	
		平成28年度	<p>障害児通園（児童デイサービス）事業について補助金を交付した。また、通園事業での療育を希望しながら待機となった子どもに対し、待機児親子サポート事業を実施しているが、平成28年度は待機児がなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童デイサービス <ul style="list-style-type: none"> 児童デイころぽっくる（アジュール舎） こどものき（宇治福祉園） かおり之園（かおり福祉会） 子ども発達サポートセンターあゆみ園（不動園） 	
		平成29年度	<p>障害児通園（児童デイサービス）事業について補助金を交付した。また、通園事業での療育を希望しながら待機となった子どもに対し、待機児親子サポート事業を実施しているが、平成29年度は待機児がなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童デイサービス <ul style="list-style-type: none"> 児童デイころぽっくる（アジュール舎） みんなのきしゅしゅ（宇治福祉園） かおり之園（かおり福祉会） 子ども発達サポートセンターあゆみ園（不動園） 	
	ふれあい収集（ごみ収集福祉サービス）	平成27年度	<p>介護が必要な方や身体に障害のある方など、ごみ収集場所へのごみ出しが困難な家庭に対して、玄関先での戸別ごみ収集や、希望者の声掛けを行う「ふれあい収集」を平成22年度から実施。平成27年度末時点で416世帯を収集対象としている。</p>	
		平成28年度	平成28年度末時点で、410世帯を収集対象としている。	
		平成29年度	平成29年度末時点で、401世帯を収集対象としている。（なお、平成29年5月1日より、精神障害者保健福祉手帳1級と療育手帳Aの所持者を新たな対象者として拡大）	

	事業名	事業結果																								
平成29年度 主な事業	各種介護予防事業	<p>平成27年度</p> <p>一次予防事業は、一次予防事業対象者に対し、重点項目（口腔機能向上・栄養改善・運動機能向上）の普及啓発を行う教室 二次予防事業は、二次予防事業対象者に対し、高齢者の介護予防に資する知識を習得し、介護予防に努める教室。</p> <p><一次予防事業></p> <table border="0"> <tr> <td>ためしてナッ得！健康のすすめ</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>脳活性化教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>4,393人</td> </tr> <tr> <td>頭イキイキ教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>2,112人</td> </tr> <tr> <td>パワーリハビリ事業</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>9,706人</td> </tr> <tr> <td>B型リハビリ教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>6,421人</td> </tr> </table> <p><二次予防事業></p> <table border="0"> <tr> <td>パワーリハビリ教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>2,911人</td> </tr> <tr> <td>足しっかり体操教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>3,081人</td> </tr> <tr> <td>足腰改善体操教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>7,562人</td> </tr> </table>	ためしてナッ得！健康のすすめ	参加者延べ人数	101人	脳活性化教室	参加者延べ人数	4,393人	頭イキイキ教室	参加者延べ人数	2,112人	パワーリハビリ事業	参加者延べ人数	9,706人	B型リハビリ教室	参加者延べ人数	6,421人	パワーリハビリ教室	参加者延べ人数	2,911人	足しっかり体操教室	参加者延べ人数	3,081人	足腰改善体操教室	参加者延べ人数	7,562人
		ためしてナッ得！健康のすすめ	参加者延べ人数	101人																						
脳活性化教室	参加者延べ人数	4,393人																								
頭イキイキ教室	参加者延べ人数	2,112人																								
パワーリハビリ事業	参加者延べ人数	9,706人																								
B型リハビリ教室	参加者延べ人数	6,421人																								
パワーリハビリ教室	参加者延べ人数	2,911人																								
足しっかり体操教室	参加者延べ人数	3,081人																								
足腰改善体操教室	参加者延べ人数	7,562人																								
<p>平成28年度</p> <p>一次予防事業は、一次予防事業対象者に対し、重点項目（口腔機能向上・栄養改善・運動機能向上）の普及啓発を行う教室 二次予防事業は、二次予防事業対象者に対し、高齢者の介護予防に資する知識を習得し、介護予防に努める教室。</p> <p><一次予防事業></p> <table border="0"> <tr> <td>ためしてナッ得！健康のすすめ</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>108人</td> </tr> <tr> <td>脳活性化教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>5,068人</td> </tr> <tr> <td>頭イキイキ教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>2,112人</td> </tr> <tr> <td>パワーリハビリ事業</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>10,839人</td> </tr> <tr> <td>B型リハビリ教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>6,448人</td> </tr> </table> <p><二次予防事業></p> <table border="0"> <tr> <td>パワーリハビリ教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>3,110人</td> </tr> <tr> <td>足しっかり体操教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>3,131人</td> </tr> <tr> <td>足腰改善体操教室</td> <td>参加者延べ人数</td> <td>9,980人</td> </tr> </table>	ためしてナッ得！健康のすすめ	参加者延べ人数	108人	脳活性化教室	参加者延べ人数	5,068人	頭イキイキ教室	参加者延べ人数	2,112人	パワーリハビリ事業	参加者延べ人数	10,839人	B型リハビリ教室	参加者延べ人数	6,448人	パワーリハビリ教室	参加者延べ人数	3,110人	足しっかり体操教室	参加者延べ人数	3,131人	足腰改善体操教室	参加者延べ人数	9,980人		
ためしてナッ得！健康のすすめ	参加者延べ人数	108人																								
脳活性化教室	参加者延べ人数	5,068人																								
頭イキイキ教室	参加者延べ人数	2,112人																								
パワーリハビリ事業	参加者延べ人数	10,839人																								
B型リハビリ教室	参加者延べ人数	6,448人																								
パワーリハビリ教室	参加者延べ人数	3,110人																								
足しっかり体操教室	参加者延べ人数	3,131人																								
足腰改善体操教室	参加者延べ人数	9,980人																								

	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	各種介護予防事業	<p>介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、高齢者を年齢や心身の状況によって分け隔てることなく、地域において、生きがい・役割をもって生活できる地域づくりを目指すとともに、対象者が生活機能の改善に向けての知識・技術・意欲の獲得を目指す教室をする事業。</p> <p>パワリハトレーニング教室（運動機能向上）参加者延べ人数 3,236人 スロートレーニング教室（運動機能向上）参加者延べ人数 2,853人 まるごとトレーニング教室（運動・栄養・口腔・認知機能向上）参加者延べ人数 9,741人</p> <p>ためしてナッ得！健康のすすめ（運動・栄養・口腔機能向上）参加者延べ人数 123人</p> <p>脳活性化教室（認知機能向上）参加者延べ人数 5,773人 頭イキイキ教室（認知機能向上）参加者延べ人数 2,112人 セルフパワリハ（運動機能向上）参加者延べ人数 10,404人 B型リハビリ教室（レクリエーション）参加者延べ人数 6,334人</p>
	鳳凰大学事業	<p>高齢者の生きがいづくり、健康づくりを目的に鳳凰大学を開催。文学歴史・健康管理・政治経済・社会福祉（各コース10講座）を4年間で学ぶ。</p> <p>平成27年度 ・平成27年度在籍者数 1回生 168人、2回生 150人、3回生 188人、4回生 93人 合計 599人 ・参加延べ人数 4,149人</p> <p>平成28年度 高齢者の生きがいづくり、健康づくりを目的に鳳凰大学を開催。文学歴史・健康管理・政治経済・社会福祉（各コース10講座）を4年間で学ぶ。</p> <p>平成28年度在籍者数 1回生 196人、2回生 161人、3回生 139人、4回生 178人 合計 674人 ・参加延べ人数 4,694人</p> <p>平成29年度 高齢者の生きがいづくり、健康づくりを目的に鳳凰大学を開催。文学歴史・健康管理・政治経済・社会福祉（各コース10講座）を4年間で学ぶ。</p> <p>平成29年度在籍者数 1回生 189人、2回生 192人、3回生 157人、4回生 135人 合計 673人 ・参加延べ人数 4,927人</p>

	事業名	事業結果	
	高齢者アカデミーの実施	平成27年度	<p>高齢者アカデミーを開校し、高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材養成を行った。</p> <p>・受講者数 1期生22人 2期生21人 3期生14人 合計57人</p>
平成28年度		<p>高齢者アカデミーを開校し、高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材養成を行った。平成28年度より、対象者年齢を満70歳以上から65歳以上へと引き下げて実施している。</p> <p>・受講者数 1期生22人 2期生21人 3期生14人 4期生23人 合計80人</p>	
平成29年度		<p>高齢者アカデミーを開校し、高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材養成を行った。</p> <p>・受講者数 1期生22人 2期生21人 3期生14人 4期生23人 5期生37人 合計117人</p>	
評価・課題	<p>健康づくり・食育推進事業や認知症の人にやさしいまち・うじの推進により、時代に応じた健康づくりと食育の一体的な推進や認知症の正しい知識の普及・啓発に努めることができた。さらに、鳳凰大学や高齢者アカデミーの実施により、高齢者の生きがいづくりや地域づくりを進めることができた</p> <p>今後は、認知症の人にやさしいまち・うじの推進などに引き続き取り組むとともに、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりの推進に向けて、さらなる事業の充実を図る必要がある。</p>		

<具体的施策>

④多世代交流促進事業								
目標	<p>地域コミュニティが希薄化するなか、世代間の交流が少なくなっている。多世代交流により、地域コミュニティの活性化や高齢者の生きがいの創出、若い世代への良き伝統の継承につなげ、宇治への愛着の醸成とふるさと宇治の創生を図る。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	市民の地域行事への参加割合	24.9% (H25年度)	—	—	—			30% (H31年度)
※平成30年度 アンケート調査実施（市民の地域行事への参加割合等を把握）								
平成29年度 主な事業	事業名		事業結果					
	高齢者アカデミーの実施（再掲）		（2）－③掲載					
評価・課題	<p>高齢者アカデミーについては、より幅広く受講者を募ることの効果と事業の定着が図られていることにより高齢者の交流機会の創出と生きがいづくりの促進を図ることができた。今後は、京都文教大学・京都文教短期大学と連携し、受講者のニーズ等の把握、分析に努め、効果的な運営手法について検討するとともに、多世代が交流できる新たな仕組みについても研究・検討する必要がある。</p>							

(3) 『まちの魅力を高める都市基盤の整備』 ～人・物の交流から活力ある宇治市を築く～

<p>目標</p>	<p>人や物の交流が活発に行われることがまちの魅力を高める条件であり、そのためには都市基盤の整備が不可欠となる。今後の新名神高速道路の開通、JR奈良線の高速化・複線化第二期事業などにより、交通環境が大きく変化することが見込まれる。これらを見据えて、宇治のまちの発展を継続させるために真に必要な都市基盤の整備を推進する。</p> <p>また、通勤・通学者による昼間人口はもとより、観光客をはじめ、さまざまな目的で本市を訪れる人（滞在人口）を増やし、人・物の交流や地域コミュニティの基盤強化により、まちの活性化を図る。</p>																															
<p>数値目標</p>	<table border="1" data-bbox="349 408 2056 699"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>滞在人口率</td> <td>0.89倍 (H26年)</td> <td>0.88倍</td> <td>0.87倍</td> <td>0.86倍 (H29年8月 までの実績)</td> <td></td> <td></td> <td>0.93倍 (H31年)</td> </tr> <tr> <td>昼間人口比率</td> <td>87.8% (H22年)</td> <td>88.1%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td>90.0% (H32年)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※滞在人口率：国（地域経済分析システム）のデータ収集方法の変更に伴い、基準値・目標値等の数値を変更</p>								数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	滞在人口率	0.89倍 (H26年)	0.88倍	0.87倍	0.86倍 (H29年8月 までの実績)			0.93倍 (H31年)	昼間人口比率	87.8% (H22年)	88.1%	—	—			90.0% (H32年)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																									
滞在人口率	0.89倍 (H26年)	0.88倍	0.87倍	0.86倍 (H29年8月 までの実績)			0.93倍 (H31年)																									
昼間人口比率	87.8% (H22年)	88.1%	—	—			90.0% (H32年)																									
<p>評価・課題</p>	<p>周遊できる都市基盤及び交通基盤などのハード施策と地域コミュニティの活性化などのソフト施策により、まちの魅力を感じることに繋げていくことが必要であり、各種取組を実施しているものの、滞在人口率は減少しているため、周遊観光の現状把握と分析を実施することで多様な人々が魅力を感じることができる効果的な基盤整備を進める必要がある。</p>																															

<具体的施策>

①まち巡りを仕掛ける基盤づくり								
目標	<p>(仮) お茶と宇治のまち歴史公園史跡の整備をはじめ、回遊型の都市基盤の整備を進めます。また、世界文化遺産等の歴史・文化資源等を活かして、楽しく歩ける宇治のまちを実現する仕組みを検討し、各商店街の取組とも協働しながら、観光客の滞在時間の延長を図るとともに、市民が楽しく歩くことで健康寿命を延伸し、健康長寿日本一を目指す。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	交流人口 (観光入込客数)	5,201,764人 (H26年)	5,598,011人	5,587,147人	5,509,815人			7,500,000人 (H31年)
平成29年度 主な事業	事業名	事業結果						
	観光案内サイン整備事業 (再掲)	(1) - ②掲載						
	(仮) お茶と宇治のまち歴史公園史跡・交流ゾーン整備事業 (再掲)	(1) - ⑦掲載						
	文化的景観保護推進事業 (再掲)	(1) - ⑦掲載						
	空き家 (古民家) の活用研究事業	平成27年度	宇治のまちなみを魅力的なものにしていくためには伝統的の家屋の活用や継承が重要であることから、伝統的の家屋の活用の法的課題について検証を行った。					
		平成28年度	宇治のまちなみを魅力的なものにしていくためには伝統的の家屋の活用や継承が重要であることから、中宇治地域における伝統的の家屋の現状を調査・分析し、その保存・活用の可能性について先進事例の調査を行った。					
		平成29年度	平成28年度に現状調査を実施した中宇治地域の伝統的木造家屋の所有者の調査を行った。					

	事業名		事業結果	
平成29年度 主な事業	名勝指定検討事業	平成27年度		
		平成28年度	市内の未指定の景勝地から保全すべき景勝地を指定していくため、宇治の名勝地現状基本調査を実施し、個別名勝地についての俯瞰写真撮影や関連文献や資料の収集などを行った。	
		平成29年度	「宇治山」及び「松殿山荘庭園」の名勝指定に向け、資料調査、測量調査を行った。	
	歴史資料館出前展示事業	平成27年度	<p>京都文教大学が運営する「京都文教サテライトキャンパス宇治橋通り」にて、出前展示を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宇治市歴史資料館の30年 特別展ポスター展」 ・「宇治の碑」（宇治市文化財愛護協会主催・当館協力） ・「昭和30年頃の宇治」 <p>開催日数：合計75日 観覧者数：合計866人</p>	
		平成28年度	<p>京都文教大学が運営する「京都文教サテライトキャンパス宇治橋通り」にて、出前展示を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵はがき大流行ー100年前の風景ー」 ・「宇治の碑」（宇治市文化財愛護協会主催・当館協力） ・「今年で奈良線は開通121年になります。」 <p>開催日数：合計58日 観覧者数：合計862人</p>	
		平成29年度	<p>京都文教大学が運営する「京都文教サテライトキャンパス宇治橋通り」にて、出前展示を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「明治のお茶づくり」 ・「巨椋池歴史絵巻」 ・「宇治の碑」（宇治市文化財愛護協会主催・当館協力） ・「ちょっと昔の街と暮らし 昭和の子どもたち」 ・「3月1日は宇治市の誕生日ー宇治市の戦後史ー」 <p>開催日数：合計127日 観覧者数：合計1,864人</p>	

	事業名		事業結果	
	事業名	事業結果	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	中小企業振興対策事業（商店街活性化施策） （平成28年度地方創生推進交付金対象） （平成29年度地方創生推進交付金対象）	平成27年度	商店街等が実施する活性化、情報対策事業などに対して、10件8団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。 ・活性化対策事業 5件 2,931千円 ・情報化対策事業 5件 1,928千円	
		平成28年度	商店街等が実施する活性化、情報対策事業などに対して、14件11団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。 ・活性化対策事業 10件 3,960千円 ・情報化対策事業 4件 1,369千円	
		平成29年度	商店街等が実施する活性化、情報対策事業などに対して、12件9団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。 ・活性化対策事業 8件 3,024千円 ・情報化対策事業 4件 1,643千円	
	文化財指定推進事業	平成27年度		
		平成28年度	国宝の平等院鳳凰堂中堂壁画の修理、萬福寺の重要文化財（れん）の修理事業をはじめ、宇治市指定無形民俗文化財の大幣神事など所有者修理・維持等の12件に補助を行った。 また、平成25年9月の台風第18号接近による災害復旧として京都府史跡萬福寺境内の獅子林院災害復旧工事に補助を行った。 このほか、二子山古墳の史跡指定に向け用地測量を実施し、また二子山古墳フォーラムを開催し207人の市民が参加した。	
		平成29年度	萬福寺の重要文化財（れん）の修理事業・法堂ほか5棟保存修理強化対策事業はじめ、宇治市指定無形民俗文化財の大幣神事など所有者修理・維持等の18件に補助を行った。 また、平成25年9月の台風第18号接近による災害復旧として京都府史跡萬福寺境内の獅子林院災害復旧工事に補助を行った。	
	宇治橋周辺地区道路整備事業	平成27年度		
		平成28年度	観光客等の周遊経路となっている宇治川左岸の市道宇治233号線において、景観に配慮した道路整備を行うため、道路の測量・詳細設計業務に着手し、関係機関等と協議を行った。	
		平成29年度	市道宇治233号線において、一部区間のフットライトの整備に着手した。	

評価・課題

歴史・観光資源等を活かした事業の実施や、商店街等が行う活性化対策事業等への補助による商店街等の振興を通じて、観光誘客に一定寄与することができた。今後は交流人口（観光入込客数）の増加に向け、さらなるまちを巡る仕掛けを行い目標達成に向け事業に取り組む必要がある。回遊型の都市基盤の整備については、研究・計画段階の事業が多いため、引き続き研究等を進め早期実施に向け取り組むとともに、新たな歴史資源を活かした取組や空き家を活かした取組のさらなる検討が必要である。

<具体的施策>

②交通環境等充実事業

目標	<p>人・物の交流はまちを活性化させるため、新名神高速道路の開通やJR奈良線高速化・複線化第二期事業などを見据えた都市基盤の整備を推進する。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	JR宇治駅乗客数	278万人 (H25年度)	314万人	305万人	H31年3月末 公表予定			320万人 (H31年度)
	のりあい交通事業実施地区数	1地区 (H26年度)	1地区	1地区	2地区			3地区 (H31年度)
平成29年度 主な事業	事業名		事業結果					
	JR奈良線高速化・複線化第二期事業		平成27年度	<p>JR奈良線の高速化・複線化第二期事業に係る鉄道施設変更認可申請に向け、環境影響評価法に基づく評価書の確定・公告手続きが完了した。また平成25年度より引き続き行っている鉄道施設等の設計及び、用地調査を順次行っており、京都駅奈良線ホーム改良工事の仮ホーム拡幅工事等が完了した。</p>				
			平成28年度	<p>平成26年度からはじまった京都駅奈良線ホーム改良工事が完了した。市内では、沿線住民に対する工事説明会を5カ所で開催し、新田～城陽間で本体工事に着手した。</p>				
			平成29年度	<p>平成28年度に市内で本体工事に着手した新田～城陽駅間に続き、六地藏～黄檗駅間及び黄檗～宇治駅間の工区についても着手し、順次工事を進めている。</p>				

	事業名		事業結果	
平成29年度 主な事業	新名神高速道路関連都市基盤調査事業	平成27年度	産業連関表策定業務（H27～H28）により明らかになる地域経済構造を参考に、宇治市人口ビジョンの実現や財政の安定化を積極的に進めていくための産業戦略が速やかに策定できるよう、庁内関係課と連携し課題整理等、準備作業に着手した。	
		平成28年度	庁内関係課と連携を図り新名神高速道路を活用した都市基盤の整備について、先進都市の調査を行った。	
		平成29年度	庁内関係課と連携を図り新名神高速道路を活用した都市基盤の整備について意見交換するとともに、先進都市の調査を参考に、産業戦略の可能性を研究した。	
	宇治市交通バリアフリー全体構想の推進	平成27年度	平成26年度に「宇治市交通バリアフリー検討委員会」を設置し、委員会での議論及びパブリックコメントを経て、宇治市交通バリアフリー全体構想を改訂し、新たに「木幡」「黄檗」「伊勢田」の3地区を重点整備地区と位置付けた。 改訂された全体構想に基づき、木幡駅周辺地区交通バリアフリー基本構想を策定した。また、近鉄大久保駅では、国・府・市が事業費の一部を補助する形で内方線の整備が行われた。	
		平成28年度	改訂された全体構想に基づき、黄檗駅周辺地区交通バリアフリー基本構想を策定した。JR宇治駅では、国・府・市が事業費の一部を補助し、内方線の整備が行われた。	
		平成29年度	改訂された全体構想に基づき、伊勢田駅周辺地区交通バリアフリー基本構想を策定した。 JR木幡駅では、バリアフリー化事業に向け、国・府・市が事業費の一部を補助する形で詳細設計が行われた。	

	事業名	事業結果	
平成29年度 主な事業	地域での交通手段確保のための取組支援	平成27年度	明星町地域では自治会が主体となって「宇治市のりあい交通事業」を活用し、路線バスの運行を実施し、収支改善のための利用促進にも取り組んだ。西小倉、槇島町地域においても地域に合った運行計画を検討し始めるなど、のりあい交通事業の実施に向けて取り組んだ。
		平成28年度	明星町地域では自治会が主体となって「宇治市のりあい交通事業」を活用し、路線バスの運行を継続した。西小倉地域については、西小倉のりあいタクシー運営委員会を設立し交通事業者を公募した。槇島町地域においても地域に合った運行計画を検討するなど、のりあい交通事業の実施に向けて取り組んだ。
		平成29年度	明星町地域では自治会が主体となって「宇治市のりあい交通事業」を活用し、路線バスの運行を継続した。西小倉地域については、のりあい交通事業の試験運行を開始した。槇島町地域においても地域に合った運行計画を検討するなど、のりあい交通事業の実施に向けて取り組んだ。
評価・課題	<p>JR奈良線高速化・複線化第二期事業については、着実な事業進捗が図られている。また、地域での交通手段確保のための取組支援として、「宇治市のりあい交通事業」及び「利用促進事業」に取り組むことにより、公共交通の確保に努めることができた。</p> <p>今後も、さらなるのりあい交通事業の展開を図り、JR奈良線高速化・複線化第二期事業に着実に取り組む中で、交通環境を充実させるとともに、新名神高速道路を活かした産業戦略と連携した都市基盤の整備を検討することにより、人・物の交流による、まちの活性化を図る必要がある。</p>		

<具体的施策>

③公共施設アセットマネジメントの導入								
目標	<p>公共施設は、コミュニティ活動の場として重要な役割を担う。時代に応じて求められる機能は変化しているため、市民アンケートやワークショップなどを通じ、市民ニーズを把握し、時代に即した公共施設のあり方を検討する。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	公共施設等総合管理計画の策定	未策定 (H26年)	策定中	策定中	策定	—	—	策定 (H31年)
平成29年度 主な事業	事業名	事業結果						
	公共施設等総合管理計画策定事業	平成27年度	<p>公共施設等総合管理計画の策定に向けて、公共施設等総合管理計画策定及び固定資産台帳整備に関する業務委託契約を締結し、庁内説明会を実施するとともに、全庁調査を実施し、公共施設に関する台帳及び既存資料などの集約並びにデータの分析を実施した。</p>					
		平成28年度	<p>引き続き全庁調査を実施し、公共施設等に関する台帳及び既存資料などの集約並びにデータの分析を行うとともに、宇治市都市経営戦略推進本部及び専門部会、宇治市公共施設等総合管理計画検討委員会により宇治市公共施設等総合管理計画の検討を行った。 また、市民アンケートを実施するとともに、平成28年12月から今後の公共施設等のあり方を市民とともに考える各種市民懇談会等を行った。</p>					
		平成29年度	<p>住民自治の観点から広く住民意見を聞くため引き続き出前懇談会を実施し、また、6月に公共施設シンポジウムで今後の公共施設等を考える機会を設けた上で、宇治市都市経営戦略推進本部及び専門部会、宇治市公共施設等総合管理計画検討委員会により意見交換を行い、パブリックコメントを実施し、平成29年9月に宇治市公共施設等総合管理計画を策定した。</p>					
評価・課題	<p>公共施設等総合管理計画を策定したことにより、将来の宇治市のまちづくりをしっかりと見据えた持続可能な市民サービスを維持していくための方針を示すことができた。今後は、本計画に基づく個別施設管理実施計画や実施方針を順次策定し、公共施設等の適正配置や計画的な保全により市民サービスの維持及び健全財政の堅持に向けて着実な実行が図られるように公共施設等アセットマネジメントの推進に努める必要がある。</p>							

<具体的施策>

④地域コミュニティの活性化								
目標	市民主体による地域コミュニティの活性化を図るため、これらを担う人材の発掘・育成など、支援策の充実に取り組む。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	市民の地域行事への参加割合	24.9% (H25年度)	—	—	—			30% (H31年度)
	自主防災組織率	69.6% (H26年度)	69.9%	71.7%	72.5%			79.0% (H31年度)
※平成30年度 アンケート調査実施予定（市民の地域行事への参加割合等を把握）								
平成29年度 主な事業	事業名	事業結果						
	防災活動を通じた地域コミュニティづくりの支援	平成27年度	自主防災組織が防災資機材を購入する場合は事業費の2分の1（10万円限度）の補助金を交付し、組織の育成を図っている。 ・平成27年度補助金交付状況 6団体（事業開始（平成8年）よりの累計245団体）					
		平成28年度	地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、防災訓練及び講演会などの取組に必要な事業費の2分の1（世帯数で上限を設定）を毎年助成する制度を創設し、自主防災組織の育成を図った。 ・平成28年度補助金交付状況 36団体（事業開始よりの累計1,143団体）					
		平成29年度	地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、防災訓練及び講演会などの取組に必要な事業費の2分の1（世帯数で上限を設定）を毎年助成し、自主防災組織の育成を図った。また、平成24年度から平成26年度の3年間に実施した自主防災リーダーの養成について、平成29年度より倍増を目標に養成講習を実施した。 ・平成29年度補助金交付状況 35団体（事業開始よりの累計1,198団体） ・平成29年度自主防災リーダー養成講習参加者 52名					

	事業名		事業結果	
平成29年度 主な事業	地域コミュニティ活動支援事業	平成27年度		
		平成28年度	コミュニティの先進地視察、調査・研究等を行い、地域コミュニティの活性化に向けた施策案を検討した。また、仕組みづくりに向けた研修・講演等を行った。 <市管理職研修> テーマ「公務員に求められる21世紀型スキルー市民協働を進めるためにー」 日 時 平成29年2月2日（木） <講演会> テーマ「協力・共同の地域づくりから生きがいへ」 日 時 平成29年2月25日（土）	
		平成29年度	地域のつながりについて、多様な視点から考える機会として、全5回のリレー講座を行った。また、コミュニティの先進地視察、調査・研究等を行った。 『つながり・居場所・地域の未来』リレー講座 第1回 平成29年10月30日（月）地域のつながり・居場所から地域の未来を考える 第2回 平成29年11月27日（月）町を住みこなすー超高齢社会の居場所づくりー 第3回 平成29年12月15日（金）みんなが安心して暮らせるまちにしようやないか in 宇治 第4回 平成30年 1月29日（月）多様な人々がともに暮らす地域のあり方 第5回 平成30年 2月19日（月）フューチャー・デザインで考える地域コミュニティの未来	
評価・課題	<p>地域防災力の向上については、地域防災組織育成に係る補助制度をはじめ、市民啓発に努める中で自主防災組織率の向上につなげることができた。また、市内にある大学との連携により、多様な視点による市民向けの講演会や職員研修を開催することにより、人材育成に努めることができた。</p> <p>自主防災組織率については、毎年組織率は上昇しており、重要業績評価指標の目標達成に向け、今後はより一層の啓発活動を行うなど事業に取り組む必要がある。</p> <p>引き続き、地域の継続的な自主防災活動及び避難行動要支援者の避難支援の取組に努めるとともに、地域コミュニティにおける課題は多岐にわたり複雑化しているが、地域コミュニティ活性化に向けた取組についても、施策の具体化とあわせ、効果的な手法を検討し実施する必要がある。</p>			

(4) 『地域経済の活力づくり』～宇治市における安定した雇用を創出する～

<p>目標</p>	<p>東京への一極集中を是正し、本市において安定した雇用を生み出すために、地域経済の活性化を図るとともに、まちとともに元気に成長する多様な企業が存続できるような新たな産業を振興する。 なお、安定した就労環境は、結婚、子育てなど自然増加を促していく要素において重要な条件であることも京都府が実施した少子化要因実態調査によって確認されていることから、本市においては安定した雇用創出を図る。</p>																															
<p>数値目標</p>	<table border="1" data-bbox="349 379 2054 691"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内従業者数</td> <td>56,323人 (H24年)</td> <td>—</td> <td>54,794人</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td>56,500人 (H34年)</td> </tr> <tr> <td>市内総生産</td> <td>5,392億円 (H24年)</td> <td>5,719億円 (H25年)</td> <td>6,417億円 (H26年)</td> <td>今後公表 予定</td> <td></td> <td></td> <td>目標達成 5,900億円 ↓ 7,000億円 (H31年度)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※市内従業者数：経済センサスの数値 ※市内総生産：京都府市町村民経済計算の数値</p>								数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	市内従業者数	56,323人 (H24年)	—	54,794人	—			56,500人 (H34年)	市内総生産	5,392億円 (H24年)	5,719億円 (H25年)	6,417億円 (H26年)	今後公表 予定			目標達成 5,900億円 ↓ 7,000億円 (H31年度)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																									
市内従業者数	56,323人 (H24年)	—	54,794人	—			56,500人 (H34年)																									
市内総生産	5,392億円 (H24年)	5,719億円 (H25年)	6,417億円 (H26年)	今後公表 予定			目標達成 5,900億円 ↓ 7,000億円 (H31年度)																									
<p>評価・課題</p>	<p>安定した雇用を創出するため、中小企業の人材確保策及び農業者の担い手確保策をはじめとする課題に対応した各種事業を実施することにより、地域経済の活性化に向けた施策を推進することができた。 今後は、産業戦略策定等を通じて、雇用拡大及び地域経済の活性化に向けて、さらなる市内企業育成・支援や新たな産業の振興等の施策の検討が必要である。</p>																															

< 具体的施策 >

①産業活性化事業								
目標	安定した雇用を創出するため、地域資源を活かした新たな産業の創出や企業の発展を支援するとともに、市内経済の構造を分析し、地域経済の好循環を促進する。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	海外販路における取引数 ※宇治商工会議所が実施する販路開拓数	6社41品目 (H26年度)	22社 154品目	12社 51品目	15社 62品目			25社以上170品目以上 (H31年度)
	農産物の直売所数	0箇所 (H26年度)	0箇所	0箇所	0箇所			1箇所以上 (H31年度)
平成29年度 主な事業	事業名	事業結果						
	産業関連表策定事業（再掲）	(1) -⑤掲載						
	企業連携	平成27年度						
	平成28年度	「宇治市人口ビジョン 宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく各種施策の推進を図ることを目的に、企業と包括連携協定を締結し、具体的な取組を進めた。 ・平成28年9月6日締結 京都銀行						
	平成29年度	「宇治市人口ビジョン 宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく各種施策の推進を図ることを目的に、各企業と包括連携協定を締結し、具体的な取組を進めた。 ・平成29年9月11日締結 京都中央信用金庫 ・平成30年2月16日締結 宇治市内郵便局 ・平成30年3月30日締結 京都信用金庫						

	事業名		事業結果	
平成29年度 主な事業	商業活力再生支援事業 (平成28年度地方創生推進交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	宇治市内の中小企業者の売上増加、ひいては地元経済の活性化を目的として、台湾及び関東にて物産展での販路開拓事業を行った。合計154品目の商品を出展し、宇治の魅力をPRすることができた。	
		平成28年度	商業分野における創業・起業支援や地元事業者の新商品創出促進の強化、小規模事業者の経営改善等を図るための特別指導事業を行った。 ・京都府物産展in台湾（出品事業所15社うち宇治8社） ・地場産品PR事業（参加企業11事業者） ・若手後継者育成事業（受講者数16名）	
		平成29年度	商業分野における創業・起業支援や地元事業者の新商品創出促進の強化、小規模事業者の経営改善等を図るための特別指導事業を行った。 ・京都府物産展in台湾（出品事業所15社うち宇治6社） ・地場産品PR事業（参加企業14事業者） ・若手後継者育成事業（受講者数16名）	
	ベンチャー企業育成支援事業	平成27年度	京都リサーチパーク（株）に業務委託してコーディネーターを配置し、ベンチャー企業育成工場の入居企業に対して経営・販路拡大等の伴走型支援を行った。また、セミナーの実施や、年内100社の目標を立て、市内企業を訪問し、市や国・府の補助制度等を紹介するなど、市内既存企業にも支援を行った（延べ支援回数530回）。	
		平成28年度	京都リサーチパーク（株）に業務委託してコーディネーターを配置し、ベンチャー企業育成工場の入居企業に対して経営・販路拡大等の伴走型支援を行った。また、セミナーの実施や、年内100社の目標を立て、市内企業を訪問し、市や国・府の補助制度等を紹介するなど、市内既存企業にも支援を行った（延べ支援回数590回）。	
		平成29年度	京都リサーチパーク（株）に業務委託してコーディネーターを配置し、ベンチャー企業育成工場の入居企業に対して経営・販路拡大等の伴走型支援を行った。また、セミナーの実施や、年内100社の目標を立て、市内企業を訪問し、市や国・府の補助制度等を紹介するなど、市内既存企業にも支援を行った（延べ支援回数518回）。	

	事業名		事業結果	
	事業名	事業結果	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	女性の起業支援（ここからチャレンジ相談）	平成27年度	男女共同参画社会の実現に向けた協働のまちづくりを推進するため、NPOや市民団体等の育成を図るとともに、女性のさまざまな分野へのチャレンジを支援した。 ・ここからチャレンジ相談（全24回　うち2回出前相談） 延べ102人参加	
		平成28年度	男女共同参画社会の実現に向けた協働のまちづくりを推進するため、NPOや市民団体等の育成を図るとともに、女性のさまざまな分野へのチャレンジを支援した。 ・ここからチャレンジ相談（全24回　うち2回出前相談） 延べ110人参加	
		平成29年度	男女共同参画社会の実現に向けた協働のまちづくりを推進するため、NPOや市民団体等の育成を図るとともに、女性のさまざまな分野へのチャレンジを支援した。 ・ここからチャレンジ相談（全24回　うち2回出前相談） 延べ104人参加	
	宇治市農産物普及促進事業	平成27年度	地産地消への市民の関心を高めるとともに、地元農産物の普及や食文化の啓発を図るため、関係団体等の協力を得て、各種講座を開催した。	
		平成28年度	地産地消への市民の関心を高めるとともに、地元農産物の普及や食文化の啓発を図るため、関係団体等の協力を得て、各種講座、直売会を開催した。	
		平成29年度	地産地消への市民の関心を高めるとともに、地元農産物の普及や食文化の啓発を図るため、関係団体等の協力を得て、各種講座、直売会を開催した。	

	事業名	事業結果	
平成29年度 主な事業	新規就農者確保事業	平成27年度	<p>新規就農者5名に対し、青年就農給付金（経営開始型）を給付した。給付対象者5名のうち2名に前期・後期合わせて1,500千円をそれぞれ給付し、3名に前期分750千円を給付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年就農給付金（経営開始型）1,500千円×2名（3,000千円） 750千円×3名（2,250千円）
		平成28年度	<p>新規就農者8人に対し、青年就農給付金（経営開始型）を給付した。給付対象者8人のうち7人に1,500千円をそれぞれ給付し、1人に1,219千円を給付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年就農給付金（経営開始型）1,500千円×7人（10,500千円） 1,219千円×1人（1,219千円）
		平成29年度	<p>新規就農者7組9人（2組4人は夫婦型、5人は個人型）に対し、農業次世代人材投資資金（経営開始型）を交付した。</p>
評価・課題	<p>民間企業との包括連携に関する協定を締結し、企業のネットワーク及びノウハウを活用した産業振興をはじめとする地方創生に関する取組を進めるとともに、宇治商工会議所と連携を図りながら、地場産品のPR等に努め、販路拡大を図るとともに、産業振興センター・ベンチャー企業育成工場を核にベンチャー企業の育成に努め、起業支援を図ることができた。一方、農業分野では、就農に要する資金等の支援により新規就農者の確保等に努め、地元農産物の普及等に向けた講座・直売会を実施しているものの、直売所の開設には至っていない。</p> <p>今後は、宇治市版産業連関表を活用し市内の経済構造を分析することで、効果的な産業戦略を策定し、各産業分野における施策を定める中で、地域経済の活性化を図る必要がある。</p>		

<具体的施策>

②雇用促進事業								
目標	就業に必要な知識・技術を習得するための研修やセミナーを実施するとともに、若者から高齢者、女性や障害のある人などあらゆる世代・人の市域内雇用の創出と拡充を促進する。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	20歳代後半から30歳代前半の就業率 ※国勢調査	72.6% (H22年)	74.6%	—	—			75.0% (H32年)
	合同企業説明会延べ参加企業数	0社 (H26年度)	—	16社	16社			20社 (H28～31年度)
	非農業者の延べ就農者数	0人 (H26年度)	0人	0人	0人			5人 (H27～31年度)
平成29年度 主な事業	事業名		事業結果					
	就労支援事業	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・職業訓練センターへの補助および市政だよりへの講座掲載 ・出張就労相談会（毎月2回開催、相談件数52件） ・会社説明会（11月から全5回、参加企業20社、参加者37人） 					
		平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・職業訓練センターへの補助および市政だよりへの講座掲載 ・出張就労相談会（毎月2回開催、相談件数50件） ・会社説明会（全11回開催、参加企業50社、参加者84人） 					
		平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・職業訓練センターへの補助および市政だよりへの講座掲載 ・出張就労相談会（毎月2回開催、相談件数44件） ・会社説明会（全10回開催、参加企業57社、参加者86人） 					
	企業立地促進助成事業	平成27年度	市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。 ・交付社数 5社。					
		平成28年度	市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。 ・交付社数 5社。					
		平成29年度	市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。 ・交付社数 4社。					

	事業名		事業結果	
	事業名	事業結果	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	新規就農者定着促進事業 (平成28年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	新規就農者の受入農家を3戸認定した。(水稲、野菜、茶)	
		平成28年度	新規就農者の受入農家を3戸認定している。	
		平成29年度	新規就農者の受入農家を新たに1戸認定した。(花)	
	障害者雇用月間・週間における雇用促進の啓発	平成27年度	市政だよりによる啓発及び障害者週間記念事業実行委員会の実施する事業への補助を実施した。障害者の雇用促進のため、今後も引き続き実施する。	
		平成28年度	市政だよりによる啓発及び障害者週間記念事業実行委員会の実施する事業への補助を実施した。障害者の雇用促進のため、今後も引き続き実施する。	
		平成29年度	市政だよりによる啓発及び障害者週間記念事業実行委員会の実施する事業への補助を実施した。障害者の雇用促進のため、今後も引き続き実施する。	
	宇治市シルバー人材センター運営助成	平成27年度	(公社)宇治市シルバー人材センターの運営事業に対し助成を行い、育成・指導に努めた。 ・会員数 660人 (男性 518人 女性 142人)	
		平成28年度	(公社)宇治市シルバー人材センターの運営事業に対し助成を行い、育成・指導に努めた。 ・会員数 645人 (男性 499人 女性 146人)	
		平成29年度	(公社)宇治市シルバー人材センターの運営事業に対し助成を行い、育成・指導に努めた。 ・会員数 597人 (男性 462人 女性 135人)	
	中小企業人材確保支援事業	平成27年度		
		平成28年度	平成29年3月7日にメルパルク京都(京都市下京区)において、「宇治市ものづくり企業合同企業説明会・面接会」を開催し、宇治市内企業16社が出展、76名の来場者があった。	
		平成29年度	平成30年3月8日にメルパルク京都(京都市下京区)において、「宇治市ものづくり企業合同企業説明会・面接会」を開催し、宇治市内企業16社が出展、45名の来場者があった。	

評価・課題

中小企業の人材確保に向けて、新たに合同企業説明会・面接会を開催したほか、新規就農者定着促進に向けた取組を行うなど、雇用創出の拡充に向けて取組を進めているが、今後は、産業戦略の策定に合わせて、これまでの事業効果を検証しながら、農業者の担い手確保及び中小企業の人材確保を含めた若者の雇用創出につながる取組を検討し重要業績評価指標の目標達成を目指す。

(5)『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』～子どもが輝く未来の宇治市を築く～

<p>目標</p>	<p>京都府が実施した少子化要因実態調査によれば、本市が属する山城北地域の在住者の結婚意向は強い（すぐにでも結婚したいという回答比率が最も高い）ことがわかる。このような意向を後押しするような施策を用いて、宇治で結婚・出産・育児をしたいと思えるイメージ形成とそれらの実現に向けた支援を実施する。</p>							
<p>数値目標</p>	<p>数値目標</p>	<p>基準値</p>	<p>平成27年度</p>	<p>平成28年度</p>	<p>平成29年度</p>	<p>平成30年度</p>	<p>平成31年度</p>	<p>目標値</p>
<p>評価・課題</p>	<p>この間、子育て支援施策の充実に重点的に取り組んできたが、出生数については過去5年間の平均を下回っている。施策の効果が現れるまで一定の時間を要することがあるものの、これまでの取組を検証する中で、子育てを担う若い世代の就労支援や結婚・出産・子育て支援など、出生数の増加につながる事業の実施が必要である。あわせて、若い世代の就労や子育て支援の充実など、宇治で結婚・出産・育児をしたいと思えるイメージ形成とそれらの実現に向けた効果的な事業の検討・実施が必要である。</p>							
<p>出生数</p>	<p>7,557人 (H22～26年)</p>	<p>1,369人</p>	<p>1,301人</p>	<p>1,246人</p>			<p>7,850人 (H27～31年)</p>	
<p>子どもを産み、育てやすい環境だと感じる人の割合</p>	<p>70.6% (H28年度)</p>	<p>—</p>	<p>70.6%</p>	<p>—</p>			<p>75.6% (H31年度)</p>	

<具体的施策>

①若い世代の就労支援事業

<p>目標</p>	<p>結婚を妨げる要因の一つとして、雇用問題があることから、これらの解消に向けて、就業に必要な知識・技術を習得するための研修やセミナーを実施するとともに、若者の雇用の創出と拡充を促進する。</p>																																													
<p>重要業績 評価指標 (KPI)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>基準値</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20歳代後半から30歳代前半の就業率 ※国勢調査</td> <td>72.6% (H22年)</td> <td>74.6%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td>75.0% (H32年)</td> </tr> </tbody> </table>	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	20歳代後半から30歳代前半の就業率 ※国勢調査	72.6% (H22年)	74.6%	—	—			75.0% (H32年)																													
指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																																							
20歳代後半から30歳代前半の就業率 ※国勢調査	72.6% (H22年)	74.6%	—	—			75.0% (H32年)																																							
<p>平成29年度 主な事業</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th colspan="7">事業結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労支援事業（再掲）</td> <td colspan="7">（４）－②掲載</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ひとり親家庭自立支援給付事業</td> <td>平成27年度</td> <td colspan="6">ひとり親家庭の親や子の学び直しを支援し、より良い条件での就職につなげるために高等学校卒業程度認定試験の合格を目指して、対象講座を受講した場合に給付金を支給した。 ・高等学校卒業程度認定試験合格支援事業支給件数 1件</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td colspan="6">ひとり親家庭の生活の負担軽減と自立支援を図るため、養成機関等において資格の取得のため、講座を受講した場合に給付金を支給し、就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進した。平成28年度から高等職業訓練促進給付金事業の支給期間を2年から3年に拡大した。</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td colspan="6">ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、養成機関等で教育訓練を受講したものに給付金を支給し、経済的な負担の軽減を図ってきた。平成29年度からは雇用保険制度による一般教育訓練給付金受給者も本制度の対象者となり（本制度との差額を支給）、一層の自立促進を図れるようになった。</td> </tr> </tbody> </table>								事業名	事業結果							就労支援事業（再掲）	（４）－②掲載							ひとり親家庭自立支援給付事業	平成27年度	ひとり親家庭の親や子の学び直しを支援し、より良い条件での就職につなげるために高等学校卒業程度認定試験の合格を目指して、対象講座を受講した場合に給付金を支給した。 ・高等学校卒業程度認定試験合格支援事業支給件数 1件						平成28年度	ひとり親家庭の生活の負担軽減と自立支援を図るため、養成機関等において資格の取得のため、講座を受講した場合に給付金を支給し、就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進した。平成28年度から高等職業訓練促進給付金事業の支給期間を2年から3年に拡大した。						平成29年度	ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、養成機関等で教育訓練を受講したものに給付金を支給し、経済的な負担の軽減を図ってきた。平成29年度からは雇用保険制度による一般教育訓練給付金受給者も本制度の対象者となり（本制度との差額を支給）、一層の自立促進を図れるようになった。					
事業名	事業結果																																													
就労支援事業（再掲）	（４）－②掲載																																													
ひとり親家庭自立支援給付事業	平成27年度	ひとり親家庭の親や子の学び直しを支援し、より良い条件での就職につなげるために高等学校卒業程度認定試験の合格を目指して、対象講座を受講した場合に給付金を支給した。 ・高等学校卒業程度認定試験合格支援事業支給件数 1件																																												
	平成28年度	ひとり親家庭の生活の負担軽減と自立支援を図るため、養成機関等において資格の取得のため、講座を受講した場合に給付金を支給し、就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進した。平成28年度から高等職業訓練促進給付金事業の支給期間を2年から3年に拡大した。																																												
	平成29年度	ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、養成機関等で教育訓練を受講したものに給付金を支給し、経済的な負担の軽減を図ってきた。平成29年度からは雇用保険制度による一般教育訓練給付金受給者も本制度の対象者となり（本制度との差額を支給）、一層の自立促進を図れるようになった。																																												

評価・課題

女性や若者等の雇用促進を目的として事業等を実施することで、就労支援につながった。また、自立支援教育訓練給付金について、雇用保険により同様の制度が適用されたものも対象（差額支給）としたことで、ひとり親家庭の生活の負担軽減が図られ、より就業に有利な資格取得の支援による就業の促進と自立支援を図ることができた。
今後も引き続き、若者の雇用の創出と拡充を促進する事業を実施する必要がある。

<具体的施策>

②結婚・出産支援事業

目標	<p>少子化の要因の一つとして、20歳代後半から30歳代の未婚率が高まっていることや少産化があることから、これらの解消に向けて、宇治で結婚・出産したいと思えるイメージ形成とそれらを実現する支援を実施する。</p>								
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	
	子どもを産み、育てやすい環境だと感じる人の割合	70.6% (H28年度)	—	70.6%	—			75.6% (H31年度)	
平成29年度 主な事業	事業名		事業結果						
	不妊治療補助事業		平成27年度	<p>不妊治療の保険診療分及び人工授精について、年間6万円（人工授精を含む場合は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。 不育治療等は1回の妊娠につき10万円までを限度に治療等に要した医療費の自己負担額の2分の1を助成し、男性不妊治療はTESE 20万円、MESA 5万円、1年度につき20万円まで助成した。なお、男性不妊治療は平成28年1月20日以降分より京都府の特定不妊治療費助成事業へ移行した。 ・助成件数 515件</p>					
			平成28年度	<p>不妊治療の保険診療分及び人工授精について、年間6万円（人工授精を含む場合は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。 不育治療は1回の妊娠につき10万円までを限度に治療等に要した医療費の自己負担額の2分の1を助成した。 ・助成件数 460件</p>					
			平成29年度	<p>不妊治療の保険診療分及び人工授精について、年間6万円（人工授精を含む場合は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。 不育治療は1回の妊娠につき10万円までを限度に治療等に要した医療費の自己負担額の2分の1を助成した。 ・助成件数 428件</p>					

	事業名	事業結果	
平成29年度 主な事業	第3子の保育料無償化の実施	平成27年度	<p>保育所に通う園児の保護者の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するため、就学前までとしている保育所保育料に係る多子計算の年齢制限を満18歳未満に拡大し、第3子以降の保育料助成（無償化）を行った。</p> <p>対象世帯の保育所保育料について、助成を行うことにより、多子世帯の経済的負担の軽減に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金交付人数 413人 ・助成金交付額 64,959千円
		平成28年度	<p>保育所等に通う園児の保護者の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するため、18歳未満のこどもが3人以上いて、保育所等を利用している第3子以降の保育料減免（無償化）を行った。</p> <p>対象世帯の保育所等保育料について、減免を行うことにより、多子世帯の経済的負担の軽減に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減免対象人数 308人 ・減免額 60,824千円
		平成29年度	<p>保育所等に通う園児の保護者の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するため、18歳未満のこどもが3人以上いて、保育所等を利用している第3子以降の保育料減免（無償化）を行った。</p> <p>対象世帯の保育所等保育料について、減免を行うことにより、多子世帯の経済的負担の軽減に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減免対象人数 303人 ・減免額 64,322千円

	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	はじめての絵本ふれあい事業	<p>平成27年度</p> <p>3か月児健診及び1歳8か月児健診時に、1冊ずつ手渡しで配付した。3か月児健診の会場では、中央図書館、中央図書館読み聞かせサークルの協力により絵本の読み聞かせを行い、各年齢に応じた絵本の紹介及び遊び方の指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3か月児健診配付数 1,341冊 ・1歳8か月児健診配付数 1,396冊
	はじめての絵本ふれあい事業	<p>平成28年度</p> <p>3か月児健診及び1歳8か月児健診時に、1冊ずつ手渡しで配付した。3か月児健診の会場では、中央図書館、中央図書館読み聞かせサークルの協力により絵本の読み聞かせを行い、各年齢に応じた絵本の紹介及び遊び方の指導を行った。</p> <p>事業開始15年を経過した節目として市民アンケートを実施し、市民のニーズを把握することができた。今後も市民のニーズに応じた事業展開を検討しながら引き続き実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3か月児健診配付数 1,286冊 ・1歳8か月児健診配付数 1,347冊
	はじめての絵本ふれあい事業	<p>平成29年度</p> <p>3か月児健診及び1歳8か月児健診時に、1冊ずつ手渡しで配付した。3か月児健診の会場では、中央図書館、中央図書館読み聞かせサークルの協力により絵本の読み聞かせを行い、各年齢に応じた絵本の紹介及び遊び方の指導を行った。</p> <p>3か月児健診で絵本の配布を行うことで絵本の読み聞かせは定着し、親子の関係づくりを促進できており、1歳8か月児健診での事業展開について引き続き検討を行うこととした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3か月児健診配付数 1,247冊 ・1歳8か月児健診配付数 1,328冊

	事業名	事業結果	
平成29年度 主な事業	パパママスタート事業 (母子健康手帳GET記念日)	平成27年度	<p>妊婦及びその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座・相談を実施した。</p> <p>気軽に参加しやすいように教室の内容を変更して実施することで、妊娠期の知識の啓発と仲間づくりにつなげることができた。今後は参加者数、市民ニーズの把握、分析に努め、より効果的な実施手法を検討する必要がある。</p> <p>・母子健康手帳GET記念日 年間30回 参加者247人（配偶者や先輩ママも含む）</p>
		平成28年度	<p>妊婦及びその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座・相談を実施した。</p> <p>市民アンケートを実施することで、市民のニーズを把握することができた。配偶者（父親）の参加しやすい日時の設定や講座内容の検討を行った。</p> <p>・母子健康手帳GET記念日 年間30回 参加者286人（配偶者や先輩ママも含む）</p>
		平成29年度	<p>妊婦及びその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座・相談を実施した。</p> <p>市民のニーズに応じ、配偶者（父親）が参加しやすいよう土曜日開催の教室を設け、内容も新たに実施したところ、定員を上回る申し込みがあり、定員枠を増やすことで対応した。今後も教室の回数や実施時期等を検討していく。</p> <p>・母子健康手帳GET記念日 年間24回 参加者426人（配偶者や先輩ママも含む）</p>
評価・課題	<p>宇治で結婚・出産したいと思える支援として、引き続き、不妊治療経費の助成、多子世帯に対する保育料の助成などを実施することにより、経済的負担の軽減を図ることができた。また、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座・相談を父親が参加しやすいように土曜日開催も実施しており、妊娠期の仲間づくりにつなげるとともに、父母ともに子育てするという意識の醸成や健やかな親子の関係づくりを促進することができた。</p> <p>今後も、市民ニーズも踏まえる中で、事業効果を検証しながら、効果的な結婚・出産支援事業の検討が必要である。</p>		

<具体的施策>

③子育て支援環境充実事業

目標

子育てを担う世代が安心して出産・育児を行うことができるよう、子育てに関する相談の充実や待機児童対策などの環境整備を図る。

重要業績
評価指標
(KPI)

指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
子どもを産み、育てやすい環境だと感じる人の割合	70.6% (H28年度)	—	70.6%	—			75.6% (H31年度)
待機児童数（国定義後）	0人 (H26.4)	0人	0人	10人			0人 (H32.4)

※国定義：他に利用可能な保育所等があるにも関わらず、特定の保育所等を希望しているものや、家庭的保育等を利用しているものなどは、待機児童数に含めない。

平成29年度
主な事業

事業名	事業結果	
小学校内での育成学級	平成27年度	<p>宇治市立小学校に就学する児童であって、下校しても保護者の就労及び疾病などの理由により保護に欠ける児童を組織的に指導し、危険防止と心身の健全な育成を図る。</p> <p>放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設学校数 20校 学級数 20学級（39クラス） ・入級児童数 1,929人（平成27年5月1日現在）
	平成28年度	<p>宇治市立小学校に就学する児童であって、下校しても保護者の就労及び疾病などの理由により保護に欠ける児童を組織的に指導し、危険防止と心身の健全な育成を図る。</p> <p>放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設学校数 20校 学級数 20学級（39クラス） ・入級児童数 1,998人（平成28年5月1日現在）
	平成29年度	<p>宇治市立小学校に就学する児童であって、下校しても保護者の就労及び疾病などの理由により保護に欠ける児童を組織的に指導し、危険防止と心身の健全な育成を図る。</p> <p>放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設学校数 20校 学級数 20学級（39クラス） ・入級児童数 1,983人（平成29年5月1日現在）

事業名	事業結果	
乳幼児全戸訪問事業	平成27年度	<p>生後4カ月になるまでの子どもがいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩み及び不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、子ども及びその保護者の心身の状況並びに養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスの提供につなげた。</p> <p>親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結び付けた。</p> <p>・訪問件数 605件</p>
	平成28年度	<p>生後4カ月になるまでの子どもがいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩み及び不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、子ども及びその保護者の心身の状況並びに養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスの提供につなげた。</p> <p>親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結び付けた。</p> <p>・訪問件数 519件</p>
	平成29年度	<p>生後4カ月になるまでの子どもがいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩み及び不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、子ども及びその保護者の心身の状況並びに養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスの提供につなげた。</p> <p>今後も、関係機関等との連携を図り、子育ての孤立化を防ぐとともに、その他の訪問事業との整理を検討しながら事業を実施する。</p> <p>・訪問件数 482件</p>
子育て支援環境整備事業 (平成28年度地方創生推進交付金対象) (平成29年度地方創生推進交付金対象)	平成27年度	<p>子育て世帯を支援するため、保育所の園庭開放やひろばの開催等のための環境整備、ファミリー・サポート・センターの貸出備品の整備を実施した。</p>
	平成28年度	<p>子どもと一緒に来庁される方への利便性向上のため、市役所庁舎及び議会棟内のトイレに乳幼児チェア及びおむつ交換台を設置した。</p> <p>・設置数 乳幼児チェア 18台、おむつ交換台 14台</p>
	平成29年度	<p>子どもと一緒に来庁される方への利便性向上のため、生涯学習センター及び総合福祉会館内のトイレに乳幼児チェア及びおむつ交換台を設置した。</p> <p>・設置数 乳幼児チェア 9台、おむつ交換台 6台</p>

平成29年度
主な事業

	事業名		事業結果	
	事業名	事業結果	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	子ども・子育て情報発信事業	平成27年度	(子育て情報誌の発行を「しあわせ子育て・子育て応援事業」で実施)	
		平成28年度	(子育て情報誌の発行を「しあわせ子育て・子育て応援事業」で実施)	
		平成29年度	<p>子育て情報誌については、平成28年度から有料広告事業を活用してフルカラー化を行うとともに紙面内容の充実を図った。また、子育て家庭に幅広く活用していただけるように、未就学児のいる全家庭に郵送による配布を行った。</p> <p>また、さらなる情報発信の充実を目指して、スマートフォンを主な対象とした「LINE(ライン)」を活用した子育て情報の発信に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌送付世帯数 6,631世帯 ・LINE登録件数 2,275件(平成30年3月31日現在) 	
	放課後児童健全育成事業補助金	平成27年度		
		平成28年度	<p>育成学級の定員を超える児童を受け入れる民間事業者に補助を行い、総合的な放課後児童対策の充実を図る。1人あたりの面積などの条例基準を満たし、放課後児童健全育成事業の届出をしている民間事業者に対し、補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象民間事業者数 3法人 ・補助対象児童数 延べ2,685人 	
		平成29年度	<p>育成学級の定員を超える児童を受け入れる民間事業者に補助を行い、総合的な放課後児童対策の充実を図る。1人あたりの面積などの条例基準を満たし、放課後児童健全育成事業の届出をしている民間事業者に対し、補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象民間事業者数 3法人 ・補助対象児童数 延べ3,200人 	

	事業名	事業結果	
平成29年度 主な事業	ファミリー・サポート・センター運営事業	平成27年度	<p>保護者の就労と子育て等の両立を支援し、安心して働くことのできる環境をつくるため、子育て等の援助を行いたい人と受けたい人で構成される会員組織であるファミリー・サポート・センターにおいて、地域での会員相互間の活動を支援する。JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」に事務局を設置している。平成27年度より、対象児童を「小学生6年生まで」に拡大するとともに「家事等支援」の対象期間を「産前2カ月から1歳に達するまで」に拡大した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 援助会員数136人 依頼会員数1,474人 両方会員数29人 利用件数2,099件
		平成28年度	<p>保護者の就労と子育て等の両立を支援し、安心して働くことのできる環境をつくるため、子育て等の援助を行いたい人と受けたい人で構成される会員組織であるファミリー・サポート・センターにおいて、地域での会員相互間の活動を支援する。JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」に事務局を設置している。平成28年度より、無料利用券の利用時間数を4時間分に拡大するとともに、利用期限を「就学前まで」に拡大した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 援助会員数128人 依頼会員数1,412人 両方会員数32人 利用件数1,296件
		平成29年度	<p>保護者の就労と子育て等の両立を支援し、安心して働くことのできる環境をつくるため、子育て等の援助を行いたい人と受けたい人で構成される会員組織であるファミリー・サポート・センターにおいて、地域での会員相互間の活動を支援する。JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」に事務局を設置している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 援助会員数120人 依頼会員数1,382人 両方会員数28人 利用件数1,378件

	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	子育て支援総合コーディネート事業	<p>子育て家庭への支援の充実を図るため、市役所1階市民交流ロビーにおいて開設している「来庁者子育て支援コーナー」に子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）と保育士を配置し、来庁者の子どもの一時預かり及び子育て支援全般に関する相談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員配置 保育士2人 ・子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）1人（週2日） ※地域子育て支援基幹センターにも週1日配置 ・利用人数 預かり 1,794人 相談 815人
	子育て支援総合コーディネート事業	<p>子育て家庭への支援の充実を図るため、市役所1階市民交流ロビーにおいて開設している「来庁者子育て支援コーナー」に子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）と保育士を配置し、来庁者の子どもの一時預かり及び子育て支援全般に関する相談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員配置 保育士2人 ・子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）1人（週2日） ※地域子育て支援基幹センターにも週1日配置 ・利用人数 預かり 1,947人 相談 1,250人
	子育て支援総合コーディネート事業	<p>子育て家庭への支援の充実を図るため、市役所1階市民交流ロビーにおいて開設している「来庁者子育て支援コーナー」に子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）と保育士を配置し、来庁者の子どもの一時預かり及び子育て支援全般に関する相談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員配置 保育士2人 ・子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）1人（週2日） ※市役所3階こども家庭相談にも週1日配置 ・利用人数 預かり 1,812人 相談 1,351人
	第3子の保育料無償化の実施（再掲）	（5）－②掲載

	事業名	事業結果																													
平成29年度 主な事業	地域子育て支援拠点事業	平成27年度	<p>地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和することにより、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。</p> <p>地域子育て支援拠点では、子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流を図る場を提供するとともに、子育てについての相談及び情報の提供、講習等の実施を行う。また地域子育て支援基幹センターでは、子育て支援の総合的なコーディネートを行い、子育て支援施策を総合的に推進する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>延べ利用者数(人)</th> <th>相談件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 地域子育て支援基幹センター(直営)</td> <td>9,647</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>2. 西部地域子育て支援センター(直営)</td> <td>6,176</td> <td>319</td> </tr> <tr> <td>3. 南部地域子育て支援センター(委託)</td> <td>375</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>4. 東部地域子育て支援センター(委託)</td> <td>5,755</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>5. 北部地域子育て支援センター(委託)</td> <td>8,319</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>6. りぼん(委託)</td> <td>7,359</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>7. ぶんきょうにこにこルーム(委託)</td> <td>8,248</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>8. ひあ にしおぐら(委託)</td> <td>2,340</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table>		名称	延べ利用者数(人)	相談件数(件)	1. 地域子育て支援基幹センター(直営)	9,647	600	2. 西部地域子育て支援センター(直営)	6,176	319	3. 南部地域子育て支援センター(委託)	375	47	4. 東部地域子育て支援センター(委託)	5,755	103	5. 北部地域子育て支援センター(委託)	8,319	91	6. りぼん(委託)	7,359	289	7. ぶんきょうにこにこルーム(委託)	8,248	89	8. ひあ にしおぐら(委託)	2,340	140
	名称	延べ利用者数(人)	相談件数(件)																												
1. 地域子育て支援基幹センター(直営)	9,647	600																													
2. 西部地域子育て支援センター(直営)	6,176	319																													
3. 南部地域子育て支援センター(委託)	375	47																													
4. 東部地域子育て支援センター(委託)	5,755	103																													
5. 北部地域子育て支援センター(委託)	8,319	91																													
6. りぼん(委託)	7,359	289																													
7. ぶんきょうにこにこルーム(委託)	8,248	89																													
8. ひあ にしおぐら(委託)	2,340	140																													
平成28年度	<p>地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和することにより、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。</p> <p>地域子育て支援拠点では、子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流を図る場を提供するとともに、子育てについての相談及び情報の提供、講習等の実施を行う。また地域子育て支援基幹センターでは、子育て支援の総合的なコーディネートを行い、子育て支援施策を総合的に推進する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>延べ利用者数(人)</th> <th>相談件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 地域子育て支援基幹センター(直営)</td> <td>8,726</td> <td>568</td> </tr> <tr> <td>2. 西部地域子育て支援センター(直営)</td> <td>6,119</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>3. 南部地域子育て支援センター(委託)</td> <td>552</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>4. 東部地域子育て支援センター(委託)</td> <td>7,256</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>5. 北部地域子育て支援センター(委託)</td> <td>8,302</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>6. りぼん(委託)</td> <td>8,001</td> <td>383</td> </tr> <tr> <td>7. ぶんきょうにこにこルーム(委託)</td> <td>8,985</td> <td>179</td> </tr> <tr> <td>8. ひあ にしおぐら(委託)</td> <td>1,108</td> <td>472</td> </tr> </tbody> </table>		名称	延べ利用者数(人)	相談件数(件)	1. 地域子育て支援基幹センター(直営)	8,726	568	2. 西部地域子育て支援センター(直営)	6,119	85	3. 南部地域子育て支援センター(委託)	552	26	4. 東部地域子育て支援センター(委託)	7,256	170	5. 北部地域子育て支援センター(委託)	8,302	164	6. りぼん(委託)	8,001	383	7. ぶんきょうにこにこルーム(委託)	8,985	179	8. ひあ にしおぐら(委託)	1,108	472		
名称	延べ利用者数(人)	相談件数(件)																													
1. 地域子育て支援基幹センター(直営)	8,726	568																													
2. 西部地域子育て支援センター(直営)	6,119	85																													
3. 南部地域子育て支援センター(委託)	552	26																													
4. 東部地域子育て支援センター(委託)	7,256	170																													
5. 北部地域子育て支援センター(委託)	8,302	164																													
6. りぼん(委託)	8,001	383																													
7. ぶんきょうにこにこルーム(委託)	8,985	179																													
8. ひあ にしおぐら(委託)	1,108	472																													

	事業名	事業結果																												
	平成29年度 主な事業	地域子育て支援拠点事業	平成29年度	<p>地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和することにより、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。</p> <p>地域子育て支援拠点では、子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流を図る場を提供するとともに、子育てについての相談及び情報の提供、講習等の実施を行う。また地域子育て支援基幹センターでは、子育て支援の総合的なコーディネートを行い、子育て支援施策を総合的に推進する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>延べ利用者数(人)</th> <th>相談件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 地域子育て支援基幹センター（直営）</td> <td>9,345</td> <td>515</td> </tr> <tr> <td>2. 西部地域子育て支援センター（直営）</td> <td>3,755</td> <td>121</td> </tr> <tr> <td>3. 南部地域子育て支援センター（委託）</td> <td>831</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>4. 東部地域子育て支援センター（委託）</td> <td>6,749</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>5. 北部地域子育て支援センター（委託）</td> <td>5,455</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>6. りぼん（委託）</td> <td>6,952</td> <td>415</td> </tr> <tr> <td>7. ぶんきょうにこにこルーム（委託）</td> <td>9,241</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>8. ひあ にしおぐら（委託）</td> <td>1,930</td> <td>1,036</td> </tr> </tbody> </table>	名称	延べ利用者数(人)	相談件数(件)	1. 地域子育て支援基幹センター（直営）	9,345	515	2. 西部地域子育て支援センター（直営）	3,755	121	3. 南部地域子育て支援センター（委託）	831	20	4. 東部地域子育て支援センター（委託）	6,749	102	5. 北部地域子育て支援センター（委託）	5,455	119	6. りぼん（委託）	6,952	415	7. ぶんきょうにこにこルーム（委託）	9,241	150	8. ひあ にしおぐら（委託）	1,930
名称	延べ利用者数(人)	相談件数(件)																												
1. 地域子育て支援基幹センター（直営）	9,345	515																												
2. 西部地域子育て支援センター（直営）	3,755	121																												
3. 南部地域子育て支援センター（委託）	831	20																												
4. 東部地域子育て支援センター（委託）	6,749	102																												
5. 北部地域子育て支援センター（委託）	5,455	119																												
6. りぼん（委託）	6,952	415																												
7. ぶんきょうにこにこルーム（委託）	9,241	150																												
8. ひあ にしおぐら（委託）	1,930	1,036																												

	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	子育て支援医療費支給事業	<p>平成27年度</p> <p>乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成する。申請に基づいて乳幼児、小学生及び中学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式か償還給付方式で助成を行う。</p> <p>子育て支援の観点から子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。</p> <p>・受給者数 19,510人 扶助費 441,773千円</p>
	子育て支援医療費支給事業	<p>平成28年度</p> <p>乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成する。申請に基づいて乳幼児、小学生及び中学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式か償還給付方式で助成を行う。</p> <p>子育て支援の観点から子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。</p> <p>・受給者数 21,114人 扶助費 444,147千円</p>
	子育て支援医療費支給事業	<p>平成29年度</p> <p>乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成しており、申請に基づいて乳幼児、小学生及び中学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式または償還給付方式で助成を行う。なお、平成29年9月診療分からは中学生の外來診療分にも助成を拡大した（3,000円超償還給付方式から200円現物給付方式に拡大）。</p> <p>子育て支援の観点から子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。</p> <p>・受給者数 22,962人 扶助費 481,953千円</p>

事業名	事業結果		
	平成29年度 主な事業 乳幼児健康支援一時預かり事業	平成27年度	病気回復期等で集団保育が困難であり、保護者の勤務の都合等により家庭での保育が困難な児童に対して保育と看護を行う。平成8年9月から宇治病院、平成14年11月から浅妻医院、平成27年7月から宇治徳洲会病院の3カ所で実施している。
実施施設			延べ利用者数（人）
宇治市乳幼児健康支援デイサービスセンター（宇治病院）			693
浅妻医院パピールーム（浅妻医院）			803
宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）			286
合計		1,782	
平成28年度		児童の病気回復期等における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。なお、平成28年度から、対象児童を小学6年生までに拡大した。	
		実施施設	延べ利用者数（人）
		宇治市乳幼児健康支援デイサービスセンター（宇治病院）	562
		浅妻医院パピールーム（浅妻医院）	749
		宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）	720
合計		2,031	
平成29年度		児童の病気回復期等における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。	
		実施施設	延べ利用者数（人）
		宇治市乳幼児健康支援デイサービスセンター（宇治病院）	625
	浅妻医院パピールーム（浅妻医院）	756	
	宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）	688	
合計	2,069		

	事業名	事業結果	
平成29年度 主な事業	しあわせ子育て・子育て応援事業	平成27年度	<p>子どもが生まれた家庭に子どもを生き育てる喜びを感じてもらえるように、お祝いの記念品等を贈るとともに、子育て情報誌等で市の子育て支援事業を利用してもらうように広報した。</p> <p>お祝いのメッセージカード、アルバム式身長計、子育て情報誌、ファミリー・サポート・センターの無料利用券などを送付した。</p> <p>・記念品等送付世帯数 1,276世帯</p>
		平成28年度	<p>子どもが生まれた家庭に子どもを生き育てる喜びを感じてもらえるように、お祝いの記念品等を贈るとともに、子育て情報誌等で市の子育て支援事業を利用してもらうように広報した。</p> <p>お祝いのメッセージカード、アルバム式身長計、子育て情報誌、ファミリー・サポート・センターの無料利用券などを送付した。</p> <p>このうち、子育て情報誌については、平成28年度から有料広告事業を活用してフルカラー化を行うとともに紙面内容の充実を図った。また、子育て家庭に幅広く活用していただけるように、未就学児のいる全家庭に郵送による配布を行った。</p> <p>・記念品等送付世帯数 1,180世帯 ・情報誌送付世帯数 6,915世帯</p>
		平成29年度	<p>子どもが生まれた家庭に子どもを生き育てる喜びを感じてもらえるように、お祝いの記念品等（お祝いのメッセージカード、アルバム式身長計、子育て情報誌、ファミリー・サポート・センターの無料利用券など）を贈った。</p> <p>・記念品等送付世帯数 1,125世帯</p>
評価・課題	<p>これまでの事業の継続実施に加えて、新たに保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いた額の助成対象を中学生の外来診療分まで拡大し、対象者の健康保持と子育て家庭の経済的負担の軽減を図るとともに、「LINE（ライン）」を活用して各種子育て支援情報を発信するなど、子育て支援環境の充実を図ることができた。</p> <p>しかしながら、保育ニーズの高まりにより平成29年度において待機児童（国定義後）が発生していることから、「宇治市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育の必要量の見込みとその確保方を検討した上で、待機児童対策についても重点的に取り組む必要がある。</p>		

<具体的施策>

④学習環境等充実事業

目標	宇治の未来を担う子どもを育むため、市内大学と連携した教育の実施や専門家による支援チームの設置など、学習環境の充実を図る。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	理科が「好き」な児童生徒の割合	小学校6年生 79.3% (京都府平均:78.8%) 中学校3年生 52.1% (京都府平均:55.3%) (H24年度)	小学校6年生 77.3% (京都府平均:82.0%) 中学校3年生 54.3% (京都府平均:55.3%)	-	-			京都府平均以上 (H33年度)
	図書館の児童書蔵書冊数	94,991冊 (H26年度)	96,515冊	97,731冊	99,575冊			105,287冊 (H32年度)
平成29年度 主な事業	事業名		事業結果					
	英語指導助手設置事業	平成27年度	JETプログラムで招致した10人を、英語指導助手として市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。 小学校派遣日数 945日 中学校派遣日数 778日 幼稚園派遣日数 64日					
		平成28年度	JETプログラムで招致した10人を、英語指導助手として市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。 小学校派遣日数 921日 中学校派遣日数 783日 幼稚園派遣日数 69日					
		平成29年度	JETプログラムで招致した10人を、英語指導助手として市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。 小学校派遣日数 932日 中学校派遣日数 762日 幼稚園派遣日数 65日					

	事業名	事業結果	
平成29年度 主な事業	学校支援チーム活動事業	平成27年度	<p>いじめや不登校といった教育課題への取組を推進するため、学校現場のみでは解決困難な問題について、組織的、体系的な支援を行う。</p> <p>学校等のみでは解決が困難であったり、解決にあたり時間を要する問題について、専門的な助言や支援を行い、現場の教職員が幼児、児童・生徒と向き合う時間をより一層確保できるよう、社会福祉士、臨床心理士などの専門家を交えた「宇治市学校支援チーム」を設置し、また、顧問弁護士及びスクールソーシャルワーカーを配置することにより、学校支援の取組を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援チーム会議開催数 13回
		平成28年度	<p>いじめ及び不登校といった教育課題への取組を推進するため、学校現場のみでは解決困難な問題について、組織的、体系的な支援を行う。</p> <p>学校等のみでは解決が困難であったり、解決にあたり時間を要したりする問題について、専門的な助言及び支援を行い、現場の教職員が幼児、児童・生徒と向き合う時間をより一層確保できるように、社会福祉士、臨床心理士などの専門家を交えた「宇治市学校支援チーム」を設置し、また、顧問弁護士及びスクールソーシャルワーカーを配置することにより、学校支援の取組を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援チーム会議開催数 14回
		平成29年度	<p>いじめ及び不登校といった教育課題への取組を推進するため、学校現場のみでは解決困難な問題について、組織的、体系的な支援を行う。</p> <p>学校等のみでは解決が困難であったり、解決にあたり時間を要したりする問題について、専門的な助言及び支援を行い、現場の教職員が幼児、児童・生徒と向き合う時間をより一層確保できるように、社会福祉士、臨床心理士などの専門家を交えた「宇治市学校支援チーム」を設置し、顧問弁護士及びスクールソーシャルワーカーを配置することにより、学校支援の取組を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援チーム会議開催数 16回

	事業名		事業結果	
平成29年度 主な事業	図書館教育充実事業	平成27年度	<p>図書の購入・配架や学校司書による支援及び図書館ボランティアの活動により、児童・生徒の学習活動及び、読書活動の充実を図ることができた。「ことばの力」育成研究事業を開始。</p>	
		平成28年度	<p>図書の購入・配架や学校司書による支援及び図書館ボランティアの活動、「ことばの力」育成研究事業を通じて、児童・生徒の学習活動及び、読書活動の充実を図ることができた。</p>	
		平成29年度	<p>図書の購入・配架や学校司書による支援及び図書館ボランティアの活動、「ことばの力」育成研究事業を通じて、児童・生徒の学習活動及び、読書活動の充実を図ることができた。今後、研究成果の他校への普及について検討する。</p>	
	図書に触れる環境づくり	平成27年度	<p>視聴覚資料を導入することにより、市民の生涯学習を促進することができた。今後、所蔵スペースを考慮し、市民及び利用者のニーズを把握する中で、視聴覚資料の選定については十分に検討する。</p>	
		平成28年度	<p>利用者の利便性向上を図るため、4月から予約図書配本所を1か所増設するとともに、京都市図書館との相互利用を開始した。また、開館時間の延長を試行し、効果や利用状況の検証を行った。</p>	
		平成29年度	<p>前年度の時間延長試行結果を踏まえ、4月から中央図書館の平日の開館時間を18時まで延長した。これにより、平日利用がしにくかった社会人や学生、生徒等の利便性の向上が図られ、図書に触れる機会を増やすことができた。</p>	

	事業名		事業結果		
	平成29年度 主な事業	スクール・サイエンス・サポート事業	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・京都大学施設訪問（京都大学宇治川オープンラボラトリー） 防災研究所 平盛小学校6年生 34名 ・京都大学施設訪問（京都大学宇治キャンパス） エネルギー理工学研究所 西大久保小学校5年生 40名 ・理科教育研修会（京都大学宇治キャンパス） 市立小学校教員 21名 	
平成28年度			<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市小学生理科教室（京都大学宇治キャンパス） 市立小学校5・6年生 20校 152名 ・京都大学施設訪問（京都大学宇治キャンパス） エネルギー理工学研究所 南小倉小学校5年生 36名 化学研究所 北小倉小学校5年生 42名 ・宇治市中学生理科教室（宇治黄檗中学校理科室） 市立中学校理科部員 3校 22名 ・理科教育研修会（京都大学宇治キャンパス） 市立小中学校教員 34名 		
平成29年度			<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市小学生理科教室（京都大学宇治キャンパス） 市立小学校5・6年生 20校 121名 ・京都大学施設訪問（京都大学宇治川オープンラボラトリー） 防災研究所 菟道小学校6年生 56名 防災研究所 西小倉小学校6年生 50名 ・宇治市中学生理科教室（エネルギー理工学研究所） 市立中学校理科部員 4校 17名 ・理科教育研修会（京都大学宇治キャンパス） 市立小中学校教員 34名 		
図書館事業計画策定		平成27年度			
		平成28年度		図書館市民ニーズ調査及び利用者アンケートを実施したほか、開館時間の延長を試行した結果、的確な市民ニーズを把握するとともに、（仮称）宇治市図書館事業計画策定に係る基礎資料を収集することができた。今後も市民ニーズの把握に努め、計画策定を進める。	
		平成29年度		市民ニーズ調査、利用者アンケート、パブリックコメント等を踏まえ「宇治市図書館事業計画」を策定した。策定に当たっては、本市の地域性や図書館の特徴、利用者ニーズ等に応じた適切な選択により短期的な目標を示し、実現性の高い計画とした。今後は計画の円滑な推進に努める。	

	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	大学連携	<p>(京都文教大学・京都文教短期大学) 平成22年2月に締結した連携協定に基づき、各種連携事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力懇談会 ・宇治魅力発信プラットフォームのコンサルティング等委託 ・地域子育て支援拠点事業「ぶんきょうにこにこルーム」 ・宇治市高齢者アカデミー事業 ・学生が考案したメニューを宇治市役所食堂にて提供 <p>(京都大学宇治キャンパス) 平成26年11月に締結した連携協定に基づき、各種連携事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市自主防災リーダーの養成講習 ・スクール・サイエンス・サポート事業
		<p>(京都文教大学・京都文教短期大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力懇談会 ・宇治魅力発信プラットフォームのコンサルティング等委託 ・地域子育て支援拠点事業「ぶんきょうにこにこルーム」 ・宇治市高齢者アカデミー事業 ・学生が考案したメニューを宇治市役所食堂にて提供 ・宇治市政策研究 ・宇治市防災訓練の開催 <p>(京都大学宇治キャンパス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力懇談会 ・宇治市自主防災リーダーの養成講習 ・スクール・サイエンス・サポート事業
		<p>(京都文教大学・京都文教短期大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力懇談会 ・宇治魅力発信プラットフォームのコンサルティング等委託 ・地域子育て支援拠点事業「ぶんきょうにこにこルーム」 ・宇治市高齢者アカデミー事業 ・学生が考案したメニューを宇治市役所食堂にて提供 ・宇治市政策研究 ・地域インターシップとして実習生の受入れ <p>(京都大学宇治キャンパス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力懇談会 ・宇治市自主防災リーダーの養成講習 ・スクール・サイエンス・サポート事業 ・宇治市防災訓練

	事業名		事業結果	
	平成29年度 主な事業		平成27年度	
生活困窮者学習支援検討事業		平成28年度	生活困窮世帯等の子どもの学習支援検討委員会を平成28年9月1日に設置した。合計3回の委員会開催を経て、「生活困窮世帯等の子どもの学習支援の在り方に関する提言」をいただいた。同提言を尊重して、生活困窮世帯等の子どもの学習支援の在り方を検討した。	
		平成29年度	平成29年6月より「宇治市生活困窮世帯等の子どもの学習支援事業」として事業開始。登録生徒数20名。事業実施回数延べ75回。延べ利用生徒数612名。	
評価・課題	<p>市内の大学との連携により、教員研修、小学生の施設訪問及び小中学生の理科教室などの様々な取組を実施し学力向上の意識を高めるとともに、生活困窮世帯等の子どもとその保護者に対して、個々の世帯の置かれている生活環境の状況を踏まえた学習支援、その他養育に関する相談支援等を行い高校進学等につなげることができた。また、平成29年4月から中央図書館の平日の開館時間を18時までに延長し、社会人等利用者の利便性向上に努めた。</p> <p>今後も宇治の未来を担う子どもを育むため、さらなる学習環境の充実に努める必要がある。</p>			

<具体的施策>

⑤保幼小中の連携教育推進事業								
目標	就学前教育の充実と小・中学校の連携を図り、つまずきのない教育を支援する。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	中学校入学に対する不安割合	小学校6年生 34.1% 中学校1年生 28.1% (H26年度)	小学校6年生 34.7% 中学校1年生 25.8%	小学校6年生 34% 中学校1年生 25.4%	小学校6年生 47% 中学校1年生 25.2%			小学校6年生：30%以下 中学校1年生：25%以下 (H31年度)
	保育所や幼稚園、家庭と連携して交流活動を実施している小学校の校数	全校実施 (H26年度)	全校実施	全校実施	全校実施			全校実施 (H33年度)
平成29年度 主な事業	事業名		事業結果					
	小中一貫教育推進事業		平成27年度	市内10中学校ブロックの全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、全中学校ブロックでチーフコーディネーターと教科連携教員を選任するために市費負担非常勤講師を配置して、系統的・継続的指導を進めた。 また、小中一貫教育を推進するにあたり「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理並びに各中学校ブロックでの広報・啓発を行った。				
			平成28年度	市内10中学校ブロックの全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、全中学校ブロックでチーフコーディネーターと教科連携教員を選任するために市費負担非常勤講師を配置して、系統的・継続的指導を進めた。 また、小中一貫教育を推進するにあたり「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理並びに各中学校ブロックでの広報・啓発を行った。				
			平成29年度	市内10中学校ブロックの全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、全中学校ブロックでチーフコーディネーター又はラーニングコーディネーターと教科連携教員を選任するために市費負担非常勤講師を配置して、系統的・継続的指導を進めた。 また、小中一貫教育を推進するにあたり「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理並びに各中学校ブロックでの広報・啓発を行った。				

	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	保幼小連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所（園）・幼稚園・小学校合同研修講座を実施 ・ 保育士、教員64名が受講 ・ 京都府山城教育局主催の「幼小接続のための実践交流会」への参加の依頼。保育所（園）・幼稚園と小学校との連携した指導方法を研修することにより、幼児期の教育と児童期の教育の接続のあり方の指導助言ができた。
	保幼小連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所（園）・認定こども園・幼稚園・小学校合同研修講座を実施 ・ 保育士、教員58名が受講 ・ 京都府山城教育局主催の「幼小接続カリキュラム実践交流会」への参加依頼。保育所（園）・認定こども園・幼稚園と小学校との連携した指導方法を研修することにより、幼児期の教育と児童期の教育の接続のあり方の指導助言ができた。
	保幼小連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所（園）・認定こども園・幼稚園・小学校合同研修講座を実施 ・ 保育士、教員51名が受講 ・ 京都府山城教育局主催の「幼小接続カリキュラム実践交流会」への参加依頼。保育所（園）・認定こども園・幼稚園と小学校との連携した指導方法を研修することにより、幼児期の教育と児童期の教育の接続のあり方の指導助言ができた。
評価・課題	<p>全中学校ブロックでチーフコーディネーターと教科連携教員の専任配置により、小中一貫教育を推進し義務教育期間の連続性を考慮した指導等を実施することができた。また、平成29年度から黄檗学園に新たにラーニングコーディネーターを配置しているが、今後はその成果も踏まえ各ブロックに配置していく必要がある。中学校入学に対する不安割合は増加していることから、今後も引き続き小中一貫教育の推進を図り、つまづきのない教育を支援する必要がある。</p> <p>また、保育所（園）・認定こども園・幼稚園と小学校との連携した指導方法を研修しており、幼児期の教育と児童期の教育の接続のあり方の指導助言等、今後も進めていく必要がある。</p>	

<具体的施策>

⑥地域等協働子育て環境充実事業								
目標	子育てを担う世代が安心して育児ができるよう、育友会・PTAをはじめ、青少年健全育成協議会等の団体や、地域での取組などと協働し、地域で子育てを支える仕組みを構築する。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	家庭学習の定着度の割合	小学校6年生 52.9% 中学校3年生 63.0% (H26年度)	小学校6年生 51.8% 中学校3年生 62.7%	小学校6年生 51.2% 中学校3年生 61.5%	小学校6年生 53.3% 中学校3年生 64.4%			小学校6年生 60%以上 中学校3年生 65%以上 (H33年度)
	児童生徒が地域活動に参加した割合	小学校 63.3% (京都府平均：71.4%) 中学校 33.5% (京都府平均：42.9%) (H26年度)	小学校 62.6% (京都府平均：70.0%) 中学校 36.8% (京都府平均：45.6%)	小学校 64% (京都府平均：70.5%) 中学校 36% (京都府平均：43%)	小学校 61% (京都府平均：65.0%) 中学校 30.2% (京都府平均：39.7%)			京都府平均 以上 (H33年度)
平成29年度 主な事業	事業名		事業結果					
	家庭・地域の教育力向上検討事業		平成27年度	全国的に喫緊の課題となっている家庭・地域における教育力の向上に向けた仕組みづくりについて、ソフト面及びハード面からの検討を行った。				
			平成28年度	全国的に喫緊の課題となっている家庭・地域における教育力の向上に向けた仕組みづくりについて、引き続きソフト面及びハード面からの検討及び関係課との調整を行った。				
			平成29年度	全国的に喫緊の課題となっている家庭・地域における教育力の向上に向けた仕組みづくりについて、不登校対策事業の見直しについて検討を行った。				

	事業名	事業結果	
平成29年度 主な事業	地域子育てひろば支援事業	平成27年度	<p>家族規模の縮小等により地域コミュニティが希薄化する中で、孤立しがちな子育て家庭を支援するため、集会所等での地域住民による「子育てひろば」の運営を促進し、地域における子育て家庭と地域住民との子育て支援関係を作り上げる。 地域住民による「子育てひろば」の運営に係る補助金を交付した。</p> <p>下村集会所、開集会所、平町集会所、平尾東集会所、伊勢田北集会所、明星集会所（新規）</p>
		平成28年度	<p>家族規模の縮小等により地域コミュニティが希薄化する中で、孤立しがちな子育て家庭を支援するため、集会所等での地域住民による「子育てひろば」の運営を促進し、地域における子育て家庭と地域住民との子育て支援関係を作り上げる。 地域住民による「子育てひろば」の運営に係る補助金を交付した。</p> <p>下村集会所、開集会所、平町集会所、平尾東集会所、伊勢田北集会所、明星集会所</p>
		平成29年度	<p>家族規模の縮小等により地域コミュニティが希薄化する中で、孤立しがちな子育て家庭を支援するため、集会所等での地域住民による「子育てひろば」の運営を促進し、地域における子育て家庭と地域住民との子育て支援関係を作り上げる。 地域住民による「子育てひろば」の運営に係る補助金を交付した。</p> <p>下村集会所、開集会所、平町集会所、平尾東集会所、伊勢田北集会所、明星集会所</p>

	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	放課後子ども教室支援事業	<p>平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域住民等で構成される推進組織の運営により、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行った。また、地域の人材を活用することによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組の名称 放課後学習会&北檣っ子くらぶ ・開催場所 北檣島小学校 ・開催期間 5月9日～28年3月9日 ・開催日数 24日 ・参加人数 延べ1,252人
	放課後子ども教室支援事業	<p>平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域住民等で構成される推進組織の運営により、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行った。また、地域の人材を活用することによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組の名称 放課後学習会&北檣っ子くらぶ、笠二っ子クラブ ・開催場所 北檣島小学校、笠取第二小学校 ・開催期間 5月7日～29年3月1日、4月1日～29年3月30日 ・開催日数 23日、168日 ・参加人数 延べ1,393人、延べ1,351人
	放課後子ども教室支援事業	<p>平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域住民等で構成される推進組織の運営により、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行った。また、地域の人材を活用することによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組の名称 放課後学習会&北檣っ子くらぶ、笠二っ子クラブ、まなび(宿題)教室 ・開催場所 北檣島小学校、笠取第二小学校、平盛小学校 ・開催期間 5月20日～30年2月28日、4月3日～30年3月29日、4月12日～30年3月14日 ・開催日数 24日、200日、172日 ・参加人数 延べ1,395人、延べ1,695人、延べ1,934人

	事業名	事業結果
平成29年度 主な事業	地域の見守り活動	<p>【市内】「青パト」によるパトロールの実施 防犯推進連絡協議会、宇治市少年補導委員会等の団体、宇治市総務課等が青色回転灯を点けた車両を用いて、通学路を含め市内のパトロールを実施し、児童生徒、保護者の体感治安の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務課の実施回数 21回 <p>【学校】 小中学校、幼稚園の安全・安心な教育環境の確保のため、学校運営支援員が見回りや防犯カメラでの監視等を行うことで不審者対策を徹底する。</p> <p>小学校（22校）、中学校（10校）、幼稚園（4園）で合計135名の学校運営支援員を登録し、半日（4時間）以上の活動を延べ13,486回行い、学校（園）内における安全管理体制の強化を図った。</p> <p>【保育】 安全・安心な保育所運営のため、各公立保育所に保育所安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所での保育所安全運営支援員の配置等に対し補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 8,743千円 保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。 ・民間保育所 24,763千円 保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等に対する補助を行った。
	地域の見守り活動	<p>【市内】「青パト」によるパトロールの実施 防犯推進連絡協議会、宇治市少年補導委員会等の団体、宇治市総務課等が青色回転灯を点けた車両を用いて、通学路を含め市内のパトロールを実施し、児童生徒、保護者の体感治安の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務課の実施回数 19回 <p>【学校】 小中学校、幼稚園の安全・安心な教育環境の確保のため、学校運営支援員が見回りや防犯カメラでの監視等を行うことで不審者対策を徹底する。</p> <p>小学校（22校）、中学校（10校）、幼稚園（4園）で合計132名の学校運営支援員を登録し、半日（4時間）以上の活動を延べ13,509回行い、学校（園）内における安全管理体制の強化を図った。</p> <p>【保育】 安全・安心な保育所等の運営のため、各公立保育所に保育所等安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所（園）・民間認定こども園での保育所等安全運営支援員の配置等に対し補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 8,713千円 保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。 ・民間保育所（園）・民間認定こども園 24,658千円 保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等に対する補助を行った。

	事業名	事業結果	
平成29年度 主な事業	地域の見守り活動	<p>【市内】「青パト」によるパトロールの実施 防犯推進連絡協議会、宇治市少年補導委員会等の団体、宇治市総務課等が青色回転灯を点けた車両を用いて、通学路を含め市内のパトロールを実施し、児童生徒、保護者の体感治安の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務課の実施回数 16回 <p>【学校】 小中学校、幼稚園の安全・安心な教育環境の確保のため、学校運営支援員が見回りや防犯カメラでの監視等を行うことで不審者対策を徹底する。</p> <p>小学校（22校）、中学校（10校）、幼稚園（4園）で合計149名の学校運営支援員を登録し、半日（4時間）以上の活動を延べ13,734回行い、学校（園）内における安全管理体制の強化を図った。</p> <p>【保育】 安全・安心な保育所等の運営のため、各公立保育所に保育所等安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所（園）・民間認定こども園での保育所等安全運営支援員の配置等に対し補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 8,661千円 保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。 ・民間保育所（園）・民間認定こども園 24,914千円 保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等に対する補助を行った。 	
	心と学びのパートナー派遣事業	平成27年度	<p>別室登校や不登校傾向の児童・生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を市内10中学校に派遣した。小学生の不登校増加に伴い、平成27年度からは4小学校に配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応延べ人数 1,581人
		平成28年度	<p>別室登校及び不登校傾向の児童・生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を市内10中学校と4小学校に派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応延べ人数 2,152人
		平成29年度	<p>別室登校及び不登校傾向の児童・生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を市内10中学校に派遣した。小学校での有効な活用が難しいため、小学校では実施せず。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応延べ人数 1,919人

評価・課題

地域住民が開設する「子育てひろば」に運営費等の補助及び放課後を活用した遊びと学びの場を提供する放課後こども教室を新たに1カ所拡充し実施することにより、子育て家庭の支援の促進と子どもを地域で育てる社会教育の環境づくりを推進することができた。また、市内大学の臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」により、不登校傾向の生徒の相談に応じるなど、地域と協働した取組として構築ができた。

今後においても、地域で子育てを支える仕組みを構築するため、市民ニーズの把握、分析に努めながら、家庭学習の定着や地域活動への参加につながる事業を実施する必要がある。

国の地方創生関連交付金を活用した事業結果

地方創生推進交付金（平成29年度） ※補助率1/2

今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業

事業概要
 京都全域において地域の文化資源を活用した観光振興や、文化の国際発信力の向上を図り、京都市に訪れる国内外の観光客をさらに拡大するとともに、それらを京都府全域への周遊へつなげていくため、圏域内の観光・交流・集客等に関する事業を民間事業者の創意工夫を引き出しながら一元的・総合的に実施できる体制整備を進めた。

重要業績評価指標（KPI）	数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	観光客の宇治市満足度（飲食・お土産・景観等）	69～95% (H23年度)	—	55～93%	—			全て85%以上 (H34年度)
	観光客のリピーター割合	58% (H23年度)	—	56.3%	—			70% (H34年度)
	交流人口（観光入込客数）	5,201,764人 (H26年)	5,598,011人	5,587,147人	5,509,815人			7,500,000人 (H31年)

※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施（観光客の宇治市満足度・リピーター割合等を把握）

事業名	事業結果掲載ページ	事業費（実績） （千円）	財源内訳 （千円）	
			交付金	一般財源
魅力発信プラットフォーム運営等事業	3	46	23	23
受付証明等事務費	3	38	19	19
放ち鶉飼プロジェクト検討事業	6	3,500	1,750	1,750
観光駐車場等対策事業	7	327	164	163
観光案内所管理運営費	7	7,864	3,932	3,932
観光振興計画推進事業	8	5,484	2,742	2,742
観光活性化事業補助金	8	3,247	1,623	1,624
観光情報発信事業	9	5,322	2,661	2,661
観光案内サイン整備事業	10	4,417	2,209	2,208
観光インバウンド推進事業	12	7,019	3,509	3,510
源氏物語ミュージアム広報活動事業	13	699	349	350

事業名	事業結果 掲載ページ	事業費（実績） （千円）	財源内訳 （千円）	
			交付金	一般財源
お茶の京都DMO協議会負担金	14	18,800	9,400	9,400
お茶の京都博開催事業	15	27,400	13,700	13,700
宇治茶宣伝事業補助金	15	500	250	250
宇治茶普及宣伝事業	16	135	68	67
宇治茶巡りガイドツアー事業	16	138	69	69
宇治茶おもてなし推進事業	17	1,557	778	779
高品質茶推進事業補助金	18	3,073	1,536	1,537
茶・茶園品評会出品奨励費	18	5,166	2,583	2,583
市内産宇治茶ブランド化推進事業	20	3,147	1,574	1,573
企画展示	22	2,159	1,080	1,079
宇治十帖スタンプラリー開催事業	23	5,565	2,782	2,783
紫式部文学賞受賞費	23	13,898	6,949	6,949
宇治田楽まつり開催負担金	28	3,000	1,500	1,500
国際交流事業	35	4,635	2,318	2,317
「宇治学」推進事業	37	6,894	3,447	3,447
「宇治学」宇治の魅力体験支援事業	37	1,992	996	996
中小企業振興対策事業	52	3,363	1,682	1,681
商業活力再生支援事業	65	3,000	1,500	1,500
子育て支援環境整備事業	79	1,276	638	638
	合計	143,661	71,831	71,830

評価・課題

国際観光都市である京都市を訪れた観光客を府内全域に誘導し、府内滞在時間を延長させ、観光消費額の増大を図るため、京都府や京都市、京都府内市町村で様々な事業を戦略的に展開する中、本市においても、平成29年度に策定した宇治市観光振興計画後期アクションプランにおいて、京都市やお茶の京都DMO等との連携による観光プロモーションについて重要項目として示した。また、実施した各所イベントでのPRを通じて宇治茶のブランド価値を高めるとともに、観光案内サインの整備や駐車場対策等による観光客の受入体制の強化を、引き続き図ることができた。

しかしながら、重要業績評価指標である交流人口は基準値からは上回っているものの、観光シーズンの荒天などが影響し前年を下回っているため、今後はさらなる誘客に向け平成30年度にリニューアルを予定されている源氏物語ミュージアムや魅力的な企画展などを活用し荒天時でも観光客に求められる観光資源の充実を図る必要がある。

また、「宇治学」などを通じて市民が宇治への愛着を育み観光資源を持つ宇治市を誇りに思うことで観光客へのおもてなし力を向上させ、重要業績評価指標である観光客の満足度、そこから繋がる観光客のリピーター率の直近の数値が基準値を下回っていることから後期アクションプランに基づき、市民全体で観光客を暖かくお迎えし、リピーター割合を向上させるとともに観光客の宇治市満足度を向上させるため効果的な事業の実施をしていく必要がある。

さらに、今年度を実施予定の市民アンケート結果も踏まえながら、新たな事業も検討し人口減少に歯止めをかける必要がある。

【参考】地方創生関係交付金事業の推移

京都府 広域連携分「今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業」（先駆タイプ）

推進 交付金	予算年度	交付金名	国予算措置	交付率	事業数	交付額	主な内容
	27当初予算 26→27繰越	地方創生先行型	26補正 1,400億円	10/10	17事業	105,655	宇治茶ブランド化、福祉・教育分野の拡充 施策を打ち出す
		上乗せ交付分	26補正 300億円	10/10	11事業	43,613	先駆性を有する事業で、観光関連施策を中 心に打ち出す
1年目	27→28繰越	地方創生加速化	27補正 1,000億円	10/10	23事業	74,574	魅力発信やDMO、宇治学などの新たな施 策を加えて展開
	28当初予算	地方創生推進	28補正 1,000億円	1/2	5事業	4,850	子育て支援と中小企業振興対策などの ソフト事業を追加
2年目	29当初予算	地方創生推進	29当初 1,000億円	1/2	30事業	71,831	観光関連事業（加速化交付金の継続）に加 え、宇治の魅力発信を中心に実施
3年目	30当初予算	地方創生推進	30当初 1,000億円	1/2	26事業	98,907 (予算額)	これまでの先駆的な施策に加え、源氏物語 ミュージアムのリニューアルを実施
4年目		地方創生推進		1/2			
5年目		地方創生推進		1/2			

数値目標値修正一覧

数値目標	基準値	平成28年度	目標値	頁
市内総生産	5,392億円 (H24年)	6,417億円 (H26年)	目標達成 5,900億円 ↓ 7,000億円 (H31年度)	63

重要業績評価指標(KPI)目標値修正一覧

指標	基準値	平成29年度	目標値	頁
魅力発信プラットフォーム参加団体数	0団体 (H26年度)	27団体	目標達成 25団体 ↓ 28団体 (H31年度)	2
市営茶室対鳳庵外国人観光客数	6,059人 (H26年度)	11,803人	目標達成 9,000人 ↓ 13,000人 (H31年度)	12
源氏物語ミュージアムでの音声ガイド貸出件数	4,021件 (H26年度)	8,182件	目標達成 6,500件 ↓ 14,000件 (H31年度)	12

【参考】

平成27年度 重要業績評価指標(KPI)目標値修正一覧

指標	基準値	平成27年度	目標値
ふるさと応援寄附件数	26件 (H26年度)	1,403件	目標達成 1,000件 ↓ 2,000件 (H31年度)
市営茶室対鳳庵外国人観光客数	6,059人 (H26年度)	7,198人	目標達成 6,500人 ↓ 7,500人 (H31年度)
宇治茶巡りガイドツアー参加者数	0人 (H26年度)	1,036人	目標達成 1,000人 ↓ 1,200人 (H31年度)
市内小学3年生に対し、宇治茶を使用した授業の時間数	0時間 (H26年度)	4.6時間	目標達成 4時間 ↓ 5時間 (H31年度)
海外販路における取引数 ※宇治商工会議所が実施する販路開拓数	6社41品目 (H26年度)	22社 154品目	目標達成 10社以上60品目 以上 ↓ 25社以上170品目 以上 (H31年度)

平成28年度 重要業績評価指標目標値修正一覧

指標	基準値	平成28年度	目標値
魅力発信プラットフォーム参加団体数	0団体 (H26年度)	21団体	目標達成 20団体 ↓ 25団体 (H31年度)
ふるさと応援寄附件数	26件 (H26年度)	2,607件	目標達成 2,000件 ↓ 3,500件 (H31年度)
市営茶室対鳳庵外国人観光客数	6,059人 (H26年度)	8,442人	目標達成 7,500人 ↓ 9,000人 (H31年度)
源氏物語ミュージアムでの音声ガイド貸出件数	4,021件 (H26年度)	6,159件	目標達成 5,500人 ↓ 6,500人 (H31年度)
JR宇治駅乗客数	278万人 (H25年度)	314万人 (H27年度)	目標達成 310万人 ↓ 320万人 (H31年度)

人口動向分析

宇治市人口ビジョンは社人研の推計手法を基に、平成22年国勢調査の実績をベースに「まち・ひと・しごと」を創出するための総合戦略を策定するうえでの分析や本市の目標とする人口を推計しています。表1のとおり、平成27年以降、人口は、宇治市人口ビジョンを下回っており、また、表2の平成27年国勢調査の実績をベースに推計された社人研の将来人口推計では、前回の平成22年の社人研の人口推計との比較からも、予測を超える速さで人口減少が進んでいます。

次に、表3の人口動態の推移をみると、自然増減（出生－死亡）は減少し続けている一方で、社会動態（転入－転出）は、平成24年以降、転出超過が続いているものの、平成28年からは転出超過の幅が縮小しており、また、人口動態全体においても同様に、平成29年には減少幅がさらに縮小しています。

これらのことから、平成27年度以降の地方創生の取組の効果が一定、表れているものとも推測されますが、人口減少は進展していることから、今後の人口動向を注視しながら、これまでの地方創生の取組を検証し、より効果的な施策が実施できるよう、継続・発展的に取り組む必要があります。

表1 人口実績比較

	2010年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2030年	2040年	2060年
	平成22年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成42年	平成52年	平成72年
H22社人研 将来人口推計	189,609	188,165	187,556	186,947	186,338	185,728	185,119	173,524	158,048	125,697
宇治市人口 ビジョン	189,609	187,586	187,340	187,093	186,846	186,599	186,352	179,782	171,151	152,985
宇治市人口 (実績)	189,609	184,678	183,711	182,921						

※各年10月1日現在の人口

※平成27年の宇治市人口（実績）は国勢調査人口

※平成28年及び29年の宇治市人口（実績）は推計人口（京都府報告数値）

※推計人口：平成27年国勢調査人口をベースに、その後の自然・社会増減を反映した人口

表2 将来推計人口

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年	平成57年
H27社人研 将来人口推計	184,678	178,464	170,328	160,716	150,248	139,547	129,408

※推計期間は、平成27年から57年まで5年ごとの30年間

表3 人口動態の推移

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
自然増減	168	56	-11	-135	-290	-344	-374	-455
社会動態	-220	226	-524	-803	-656	-889	-575	-318
合計	-52	282	-535	-938	-946	-1,233	-949	-773

※自然増減は、当該年中（1月～12月）の「出生－死亡」の人数

※社会動態は、当該年中の（1月～12月）「転入－転出」の人数

宇治市と大学・企業等との主な連携内容一覧

地方創生の実現や地域社会の発展、人材育成に寄与することを目的に、大学、企業等と連携協定に関する協定を締結しています。

【大学等協定】

学校・研究所名	締結日	主な実績
京都文教大学・短期大学	H22.2.5	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整会議 ・連携協力推進会議 ・連携協力懇談会 ・COC共同研究・市政策研究 ・寄附講座 ・高齢者アカデミー など
京都大学 宇治キャンパス	H26.11.25	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整等会議 ・連携協力懇談会 ・スクールサイエンスサポート事業 ・市防災会議・防災講習 など
追手門学院大学	H29.2.23	<ul style="list-style-type: none"> ・大学授業へのゲストスピーカー など
京都府立大学	H30.6.22	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献型特別研究 (ACTR) ・共同研究 ・市イベントへの参加 など

【企業協定】

事業者名	締結日	主な実績
京都銀行	H28.9.6	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー開催(クラウドファンディング活用セミナーH29年10月6日開催) ・香港訪問時のアテンド ・マクアケとのガバメントクラウドファンディングによる連携
京都中央信用金庫	H29.9.11	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生のための施策検討勉強会 (リーサスを活用した地域経済把握) ・中信ビジネスフェアにおける宇治市ブースの出展 ・事業承継に関する中信・行政勉強会 ・「事業承継」に関するセミナー開催
宇治市内郵便局	H30.2.16	<ul style="list-style-type: none"> ・東京23区の郵便局への「ふるさと納税のパンフレット」を配架協力 ・障害のある方へのコミュニケーション、配慮についての出前講座 ・障害のある方を対象とした図書館図書の郵送サービスの実施 ・郵便局や民間事業所、公共施設等におけるシェアサイクル事業を中宇治で展開予定
京都信用金庫	H30.3.30	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアオフィス視察案内 ・宇治地域クラウド交流会を開催 (参加者 約400名) ・省エネ補助金活用セミナーに関する周知協力
あいおいニッセイ 同和損保株式会社	H30.6.4	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向けドライブシミュレーターによる安全運転診断(予定) ・職員向け安全運転講習(予定) ・農業従事者、六次産業化を対象としたリスク対策セミナー(予定) ・11月25日の青少年によるクリーン宇治運動への参加協力
ソフトバンク株式会社	H30.6.29	<ul style="list-style-type: none"> ・IoTを活用して路面情報を検知する実証実験を実施